



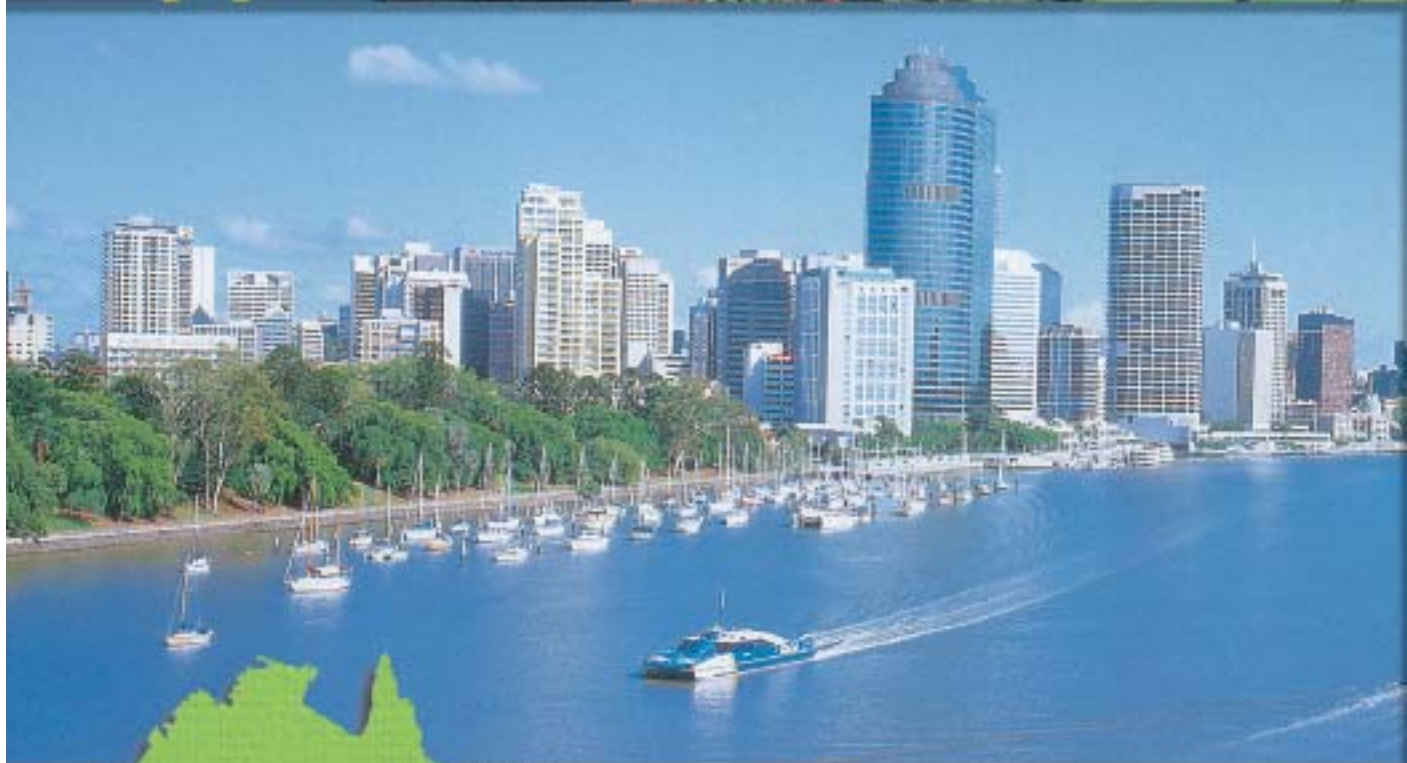
国際ロータリー第2510地区・DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL

2002-2003 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER No.8

# ガバナー月信

2月号  
February

2002-2003年度ガバナー GOVERNOR 小林 博 KOBAYASHI HIROSHI  
〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目北海道医師会館6F 電話 011-219-2510 Fax 011-222-1526 E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp  
Odori-West 6, Ishikai Bldg. 6F, Chuo-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0042 Japan Tel.81-11-219-2510 Fax.81-11-222-1526  
E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp



2002-2003年度RI年次大会(第94回)

## ブリスベン国際大会

2003年6月1日～4日

# ガバナーレター



小林 博

## 世界をよく理解しよう!!

2月は世界理解月間 (World Understanding Month) である。1905年2月23日はロータリークラブの創始者であるポール・ハリスとガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日である。そこで2月を「世界理解月間」として、ロータリークラブは理解と親善のためのプログラムを行うことを決めた。また2月23日の創立記念日を世界理解と平和の日 (World Understanding and Peace Day) と定め、各クラブは国際理解と友情と平和にむかって献身するようにすすめている。

だが、この標題をただ鵜呑みにするだけでよいのだろうか？ ロータリーは組織として肥大化し、ゆるぎない基盤を作った。だが、世界は激しく変わり、この変化にロータリーがついていけないという現実があるのではないか。とすると世界理解にも新たな視点が必要と思う。

現代の世界を理解するに際して何が基本かという、それは南北問題でないか。先進国と発展途上国との葛藤といってもよい。つまり、世界は爛熟しきった国々と、いまだに貧困のどん底にあえぐ人達との間の格差が際立って、その格差は縮まるどころかますます広がっていく。世界の情報化と交通手段の進歩によって富あるものと貧しいものが直に隣り合うことになり、貧者は富者との比較のうえでいかに自分がみじめな存在であるかを悟るようになった。しかもそういう人たちは自分たちが長い間変わることなく先進国の犠牲になってきたという認識から、やがてその反発がアメリカの9月11日のテロへと繋がっていく。こういう背景をロータリアンとして目をそむけることなく直視し、そのうえでロータリアンが何をすべきか考えなければならないかを考えると新しい世界理解の原点なのではないかと私は考えている。

もちろんロータリアンの出来ることの限界がある。世の中の良心的な政治家をもってしても難しいことに我々市民組織が立ち向かったとしても、その成果は知れたものかもしれない。それでもわれわれロータリアンは世界の経済的な貧困者、人権上の弱者、苦しみ悩む人たちのことを片時も忘れてはならないし、常に世の改革のためのリーダー的な集団でなければならないと思う。

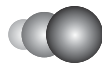
大切なことは、世界の現状を嘆くだけでなく、やはり出来ることから順番にやっていくことではないか。われわれのやろうとしていることは大河の一滴かもしれないし、無力感におそわれることもある。でも、どんな小さなことでもいい。すべて千里の道も一歩からである。とにかく歩み出そうではないか。

## 目次

ガバナーレター	小林 博	2	クラブ活動紹介	20
世界理解月間に因んで	青木 功喜	3	函館北RC・栗山RC・札幌東RC	
第2回ガバナー補佐会議報告		4	お詫びと訂正	21
ロータリーQ&A		9	会員の声	22
これからのIMの予定		9	奥貫一之(札幌東RC)・戸部アナマリア(札幌はまなすRC)	
竹山元RI理事、RI会長指名委員に		9	「ロータリアン宣言」試案	23
あらためてポリオ撲滅のための募金をお願い		10	ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	24
文庫通信		10	米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます	24
ガバナー日記		11	残念ながらCAPの申請ゼロ	25
地区活動紹介		14	12月会員増減数・出席率報告	26
家庭奉仕委員会・ローターアクト委員会・地区幹事			訃報	26
ビチャイ・ラタクルRI会長歓迎会のご案内		15	掲示板	27
新入会員紹介		16	2・3月地区カレンダー	27
2002-03年度 ロータリークラブ会員調査		17	事務所日より	27



## 世界理解月間に因んで



国際奉仕委員会  
委員長 青木功喜



### ロータリアンは人間性を基本に。

ロータリアンはロータリーと言う普遍性の中で個性を生かす事が大切である。私は真理を大切に、その枠のなかで考え行動したい。枠が無い言い方や行動はそれはそれで良い。しかし自分の考えを押し通すためには、手段を選ばないことには同意できない。このことはロータリーの金看板の職業倫理以前の問題である。ロータリーの4つのテスト 1. 真実かどうか、2. 皆に公平か、3. 好意と友情を深めるか、4. 皆のためになるかどうか、をロータリアンは行動の規範としている。ロータリーは広い世代の会員を受け入れている。最近会員数が増えないと言う事が話題になっているが、出生数が年々減少している限り、その分母が減っているので、限り無く会員数を増やしていけば、ロータリアンの質がかわっていく宿命を抱えている。

### 人間の歴史の中でロータリーを考える。

生物は生き残っていくために絶えまなく変異する。ロータリーも原理原則にこだわって純培養していくと、脆弱になり異分子が入ってくると抵抗できなくなる。歴史上は優秀な民族が生き残っていくとはかぎらない事を証明している。勝ち残れるのは持っている能力を徹底して使わないと気がすまない民族である。ヨーロッパ文明の産物である自由、平等、博愛は現在自家中毒を起こしているという歴史学者もいる。すなわちすべての国は平等な権利があると言う理想とすべての国は平等な能力を持っていないと言う現実がある。ローマ人は根に持たず、被害者意識を持たなかった。長い歴史のヨーロッパと日本との違いは、社会一般で通用する判断基準は常に前の世代の物であると言う事を自覚しているか否かである。日本的な団体主義は、高度成長時代に生まれた日本の代表的価値観であり、現在、制度疲労を起こしている。これまでは調和が重んじられてきたが、今は人と違う事が言える人も必要となっている。

### ロータリアンの国際性

討論を楽しもうと言う小林ガバナーの意見に賛同する。そのためにはtop downだけでなく、down upの意見との調和が必要となる。まして国が違えば意見が違って当然である。日本人の考え方は、悪いところを直してより良くしようと言う考え方が基本にある。しかし米国人は、良い事を伸ばしていく事により悪い事は少なくなっていくと言う考えである。

真の国際理解は相手のあらを探す事ではない。お互いの良いところを見合って、始めて真に理解しあえるのである。ロータリーが国際組織である限り、この違いを忘れたくない。それは組織が大きくなったための組織疲労だけでなく、国際組織が抱える宿命である。歴史の短い米国は現在を大切に、将来過去にはあまり軸足をおかない。これは開発途上国も同じである。その点我が国やヨーロッパの国は、過去将来に軸足が置かれている。そのため何か行動する際には、その理念と言う裏づけが常に強く要求される。しかし眼の前に解決すべき問題が山積している開発途上国では勿論、これを援助する場合にも行動が先行する。

### 日本のロータリアンとしての課題

行動と理念、将来過去と現在の比重の違いは、年齢の違いにも強く反映してくる。最近の我が国のように、高齢者の比重が重くなるにつれ、このバランスが崩れて来る。過去にこだわる事の少ない若者は、将来を見据えるため過去に対する配慮は少なくなる。過去や将来に対する考えは、宗教を信じている人と信じていない人とは明らかに異なる。問題はこれらの年齢の違い、地域の違い、軸足の場所が違って、お互いが国際ロータリーとして、一つになる意義の最大公約数を忘れない事であろう。そのためにはロータリアンである前に、より良い人間性は勿論、国際ロータリアンとしての自覚が優先するのではないか。

日本ロータリーとして独立した場合、日本のロータリアンだけでいくばくの事ができるであろうか。日本のロータリアンが世界のロータリアンの水先案内人になる気概で、もっと国際的センスを磨く事が必要である。ICなどのハードウェアがいくら発達しても、これも使う一人ひとりの国際性が育たなければ、国際ロータリーの正しい改革とその進歩は望めない。

### ロータリー国際奉仕の歴史

- 1905年：ロータリークラブ発足
- 1917年：アーチ・クラフ基金創立（ロータリー財団の前身）
- 1917年：ルーズベルト大統領RIの意義強調。
- 1921年：エジンバラ大会で国際奉仕理念提唱。
- 1922年：ロサンゼルス大会でRI綱領として国際奉仕理念正式採択
- 1945年：国連憲章の制定にRIからも参画。
- 1962年：ニッティシ・ラハリーが世界社会奉仕の概念提唱。
- 1966年：財政援助の制限条項解除
- 1967年：ロータリー-WCS杞憂論争
- 1968年：RI世界社会奉仕活動開始。
- 1974年：青少年交換プログラムRI理事会で決定
- 1988年：ロータリー-友情交換プログラム採択
- 1993年：国際職業連絡グループ（IVCG）と世界親睦活動（WFA）が統合し趣味職業別親睦活動（RRVF）に統合される。

### 現在の国際奉仕：

- 1) 世界社会奉仕活動、2) 原物抛出情報ネットワーク、3) 災害救援、
- 4) 人道援助、5) 飢餓救済、6) 国際レベルの教育及び文化活動、7) 世界理解月間と催し

## 第2回 ガバナー補佐会議報告



各グループガバナー補佐、左から吉本勲、藤原税、辻野修、村山正、角掛晴雄、和田次彦、郷司公雄、斉藤修弥、遠藤哲二、松見修二、川田憲秀の各氏

本年度第2回目のガバナー補佐会議が、2003年1月18日に下記の議題で開催されました。

### 【議題】

1. 前半期を省みて  
財務報告(地区および地区大会)
2. ロータリー財団について
3. 後半期のスケジュール  
IM  
ワークショップ(案)  
子ども奉仕委員会(仮称)案  
ロータリアン宣言(案)  
国際大会(プリズベン)、  
新旧AG引継ぎ会日程など
4. その他
  - 1) 会員名簿について
  - 2) ガバナー月信について
  - 3) RI会長歓迎例会について
  - 4) 会員調査アンケートについて
  - 5) その他

以下は「前半期を省みて」に関するガバナー補佐の発言要旨です。



### 第1グループガバナー補佐 吉本 勲

羽幌町は人口1万にも充たぬ小さな町であるが、RC会員数は47名を数える。

連帯意識も強く、青少年支援(青少年野球大会)や社会奉仕、中でも献血車巡回に積極的に参加協力し、更に、職業奉仕賞(今年度は羽幌高校生とのボランティア活動)など見るべき成果を挙げつつある。

小平RCは会員数減少のため、一時は解散の危機に立たされたが、今年度前半において会員数17名まで回復、その努力に対して同クラブ新名会長が地区大会において、ガバナー特別表彰を受けられたのはわれわれの記憶に新しいところである。

留萌RCのモットーは「火付け、強盗以外は入会を認め、良きロータリアンとなすべく善導教育する」のだそうである。留萌RCには言葉の最良の意味で、庶民的かつ大らかなユーモアがある。今年度前半において、市民海水浴場クリーンアップ作戦、また市民参加の呑濤(どんと)まつりにクラブ製作の大あんどんを以て参加した。更に秋には小平RCとの共催で青少年スポーツ大会(剣道)を実施、参加小中学生剣士は100名を越える盛況であった。

妹背牛RCは第2510地区72クラブ中、長万部RCの次に小さい会員数12名のミニクラブであるが、訪問してみると素朴で暖かい心情の方々がロータリーの灯を消さぬよう懸命の努力を続けておられた。

私の所属する深川RCは米山奨学金及び財団寄付において、すでに顕著な業績を挙げつつある。お金を出すばかりがロータリーではないが、お金を出すのもまたロータリーにとって必要不可欠のことであろう。悩みは会員数が増加しないこと。留萌RCなどと違って、少々古くさいエリート意識が残っているのも一因かと反省している。



### 第2グループガバナー補佐 藤原 税

今年度から新たに始まった合同例会方式によるガバナー公式訪問、それに先立ってのグループ内、各クラブのクラブ協議会への出席と、ガバナー補佐としても初めての試みが多く採り入れられスタートした今年度ではありましたが、グループ内各クラブのご協力を頂きながらなんとか前半を終えることが出来ました。というのも年度前から始まったガバナーエレクト・地区幹事と各クラブ会長・幹事との打合せ等の事前準備がよかった為なのか、とにかく、大きな混乱もなく折り返し地点までくることが出来ました。

前半期の大きなイベントの一つでもあったGSEの受入れは第2グループ芦別・赤平クラブが第二週目10月22日より一週間の受入れでありました。当初チームメンバーの情報がなかなか入らなかったこともあり担当コーディネーターの方も苦勞されたことだと思いますが二つのクラブがよく協力し同じグループ内の滝川・砂川両クラブの協力も得て、GSEメンバーの人柄の良さにも助けられ共に友好的な一週間を過ごすことが出来、充分その目的は達せられた事と思います。また、情報伝達の手段として地区ホームページによるGSEチームの状況を逐次写真掲載で知ることができたことはGSE受入れが自分たちの一週間だけで終わらなく、地区大会へ

と繋がる事が出来たと思います。その地区大会も登録数等で心配を致しましたが終わってみれば概ね好評判であったように思われます。グループ内クラブの会長幹事に於いても新しい形のガバナー月信、地区会員名簿についても第二グループ内ではそれなりの理解は得られたと感じています。各クラブとも人口減に不況の追い討ちがかかった地方クラブとしての悩みを抱えながら地元のニーズに応えようと努力しているのが感じられた前半期でした。



**第3グループガバナー補佐  
辻野 修**  
とにかく慌しい一年間だった。

補佐の仕事は来年の7月からだと多少タカをくくって2001年の12月の初めに当時の前田会長と福井幹事に次年度の補佐を引き受ける返事をした。

手元の記録によるとその年も押し迫った、12月22日に小林ガバナーエレクトが態々当別まで足を運んで下さり、第3グループの各クラブの会長、幹事エレクト全員集合の元に初めての会合が持たれました。

会の始まりにどなたが司会、進行するのですかと伺いましたら「当然、貴方です。」とのつれない返事に目の前が真っ暗になり頭の中が真っ白になった事を思い出します。

しかし、そこは大教授、会の進行を上手に誘導下さり、次期R・Iビチャイ・ラタクル会長のテーマの「慈愛の種を播きましょう」の本質的な説明と小林ガバナーエレクトの来期に対するの抱負と決意を述べられ、補佐は勿論、各会長、幹事の協力を強く要請されました。

したがって、任期の6カ月も前から補佐としての重圧に耐えることになりました。

明けて2月のチーム研修セミナーからクラブ会長エレクト研修セミナー、地区協議会、補佐エレクト会議、新旧補佐会議等、矢継ぎ早の研修、会議で7月の補佐就任時には、既に疲労困憊の状態でした。しかし、グループ

内各会長、幹事の皆さんに助けられ「例会中の禁煙」をグループとして宣言したり、I・Mを9月14日に道民の森での野外開催にしたり、又10月12日にグループ研修会を美唄クラブのホストで成功させたりと本当に充実した活動が出来たと会員一同に対し深く感謝している次第です。

残る半期につきましても皆様のご支援を頂きまして小林ガバナーの提唱するロータリーの改革に微力を尽くし度いと思っております。



**第4グループガバナー補佐  
村山 正**  
ガバナー補佐としての半年が何とか無事に過ぎた所です。公式訪問に備えてのクラブアッセンブリー、ガバナーに

随行しての会長・幹事会、公式訪問などで、8月9日にはかなり頻繁に各クラブにお邪魔しましたが、その後もはまなすクラブの10周年式典、あけぼのクラブでの卓話、自発的に行った何回かのメークアップなどを通してグループ内各クラブの皆様と親しくなれたのは感謝すべき事でありました。

なお、9月18日には第1回の会長・幹事会を行いました。2月19日に第2回を開催し、グループ内各クラブの情報を交換して意志の疎通を図ることを考えて居ります。

2月22日には第5グループと協力してIMを行いますので、1月には各クラブを訪問して協力をお願いして歩いたのですが、3クラブでは全員登録をして下さるなど、どこのクラブでも温かく対応して頂き有難い事でした。

深刻な不況の中、各クラブとも会員増強にはかなりの力を入れて居られるのですが、会員数は現状維持か、若干の増と言った所かと思えます。

地域に密着した各種の社会奉仕、植樹、海浜清掃、育児園児の動物園見学、中学校スポーツ大会、中学生夢会議などが各クラブで積極的に行われて居ます。

また、3月13日には札幌西、手稲、あけぼの、西北の4クラブ合同例会が計画されて居ります。更に西クラブ

を中心として市内6クラブの音楽委員研修会、4クラブ合同例会における合唱なども計画されて居りますが、先の地区大会では札幌西部4クラブの有志によるオープンコーラスが好評を博しました。

なお、札幌クラブでは12月4日に創立70周年記念例会、北クラブでは1月27日に1,500回記念例会を行いました。札幌モーニングクラブでは3月6日に創立15周年記念式典、祝賀会が予定されて居ります。



**第5グループガバナー補佐  
角掛晴雄**  
平成14年4月の札幌東RCの年度当初のクラブ協議会に始まり、12月の札幌セントラルRC迄、全8クラブの協議会に出席してクラブの方針、並びに運営方法をつぶさに拝聴したが、総じて健全な運営を心掛け共通して会員増強に力を入れている印象を得た。どのクラブも増強には苦勞しているようで、現今の経済不況もあいまって一人入会すると一人退会という状態で、なかなかうまく増強出来ないでいる現状のようである。

前期は地区の会員増強委員会、第4・第5グループ合同社会奉仕委員会、地区青少年交換事業説明会等に出席した。また、12月には、東京神宮RC前女性委員会委員長の杉本女史をお呼びして女性会員についての講話をいただいて女性会員入会のため大変参考になった。10月は各クラブのガバナー公式訪問が一斉に行われ、概ね好評だった。

前期は地区の会員増強委員会、第4・第5グループ合同社会奉仕委員会、地区青少年交換事業説明会等に出席した。また、12月には、東京神宮RC前女性委員会委員長の杉本女史をお呼びして女性会員についての講話をいただいて女性会員入会のため大変参考になった。10月は各クラブのガバナー公式訪問が一斉に行われ、概ね好評だった。

今期より地区に家庭奉仕委員会が発足し、その勉強会が和田三委員長が発案により毎月1回行われて参加。今年度の第4・第5グループ合同のIMは第5グループが当番幹事で、テーマを「家庭奉仕」について実行することになり、実行委員会を設立し立案して、既に各クラブに案内を配布済みである。8月にはグループ研修会を開催して各クラブの会長・幹事さんへ出席していただき、クラブの現在の進捗状況、問題点等を検

討した。

以上であるが、9月には私事、家庭内にアクシデントがあり、まだまだ活動を考えていたが、思うように活動、行動が出来ずガバナー、地区役員、会員の皆様に多大のご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び致します。後期は頑張りたいと思います。



第6グループガバナー補佐  
近藤徹哉

——所感——はじめての補佐として、当初は、混乱して、どのように計画書をつくるかわかりませんでした。5月になってから大体の輪郭が見えてきました。ガバナー補佐の出身クラブの理解が絶対条件でした。また事務局体制を作らなくては、個人一人では困難を伴う事がハッキリしていました。

各クラブ訪問、会長・幹事会に参加出席いたしまして、事務局体制の応援の下、スムーズに運営されたと思います。

自己研鑽、再度のロータリ関係に対する勉強の機会をいただきまして、幸せでした。感謝しています。人とのめぐり合わせが、自分の財産になり、自分の経験をなにかの機会に後輩に伝達する事、参考になるのであれば、と考えています。

D. L. P計画は、良いシステムで、沢山の会員が経験すると、ロータリ活動が活発になると考えます。

**1・出席**——例会時 80%をきっているクラブ数—4<蘭越、倶知安、岩内、銭函>

原因——経済状況、地方都市では、このデフレ経済で経済活動が低迷して、ロータリ活動への<例会参加>ボイコットと事業への専念、社員への気配り、と思います。

——例会が楽しくなければ、自然と足が向かわない。

改善策——年間例会計画書作成時には、会長・幹事同席して、時代背景、会員動向、会長の力をいれる例会は？

プログラム委員会と連携を密にして作成、新入会員の目標月は？案を出し合うコミュニケーションを多くとる事。

**2・親睦活動**——各クラブからは、補佐、事務局会員にたいして、暖かい歓迎をうけました。感謝申し上げます。

会員同士の親睦は、各クラブが本当に和やかで良かったという印象が深かったです。

**3・会員増強**——女性会員数は、現在10名<倶知安4名、余市4名、銭函2名>で企業活動家で女性の方を、勧誘策として計画する事が急務と考えます。例会の雰囲気もやわらかくなりますし、夜間例会は、大変楽しくよい傾向になる事請け合いです。

**4・活動計画**——特記しますと、小樽南クラブ(相馬会長)の「ブック・スタートの運動展開」

第6グループでは、最初の運動、時代の流れと、今後の日本の幼児教育「教育問題」に対する参考になる運動で、北海道新聞の新年号に詳しく記事として載っていました。

この輪がどんどんと2510地区に拡大されますと、大変よいと考えています。期待しております。

本は、想像力の宝庫、テレビから解放することが、幼児にたいする大人の責任です。

**自然環境保護運動**——銭函クラブの螢のいる自然郷建設で子供達への自然回帰への理解度運動。

#### ガバナー補佐選出方法について

今回は、大変困難でした。過去の会長幹事会で周り当番を決めたので、そのように事を進めましたが、不可能でした。

一やはり、会長・幹事会で討議して、その意見をガバナー事務所へ報告し、当番補佐と三者で協議して、確定する事が、大切と考えます。

6カ月くらいで、補佐を決める事は、不可能でした。私の力不足でした。一年に2回程度、各委員会委員長のグループ内の交流をしてはどうか？1月18日の会長幹事会で提案する予定です。情報交換する事で、例会運営の仕方が、変わると思います。

#### 国際大会への参加依頼について

今年は、オーストラリア・ブリスベ

ーン(クインズランド州)大会ですが、各グループから出席会員の把握を事務局で指示をだしたら、いかがでしょうか？参加して、ロータリクラブの会員でよかったとの印象を経験すると思います。費用の点で少し割り高です。もう少し安い費用を検討しては、どうでしょうか？

#### 地区大会について

今回の大会は、非常に良かったと思います。費用の面を安く<会費金額を10,000円以内>ですと負担がなくなるので、検討する余地が大いにあると考えます。講師の選定が、よかったです。との反応が各クラブからありました。

感動のある大会は、やはり昔と違って、印象に残る事がよいと思います。

#### 会員同志のコミュニケーションについて

年1度は時間が少ないので、宿泊例会でもっとお互いが理解する機会をもつための政策として、いかがなものか？青年会議所時代は、宿泊例会がありました。心に残っています。いろんな話題をぶつけあって、考え方の相違を発見しました。



第7グループガバナー補佐  
和田次彦

「早いものです。任期もあと半年となり……」と普通ははじめるところであるが、「やっと半分が終わり、あと半年もある」と言うのが本音であります。

又、ガバナー補佐にとっては大仕事のインターシティ・ミーティングがこれからであります。

年度頭初に、小林ガバナーより「冗漫なI・Mなどしなくても良い」と言われ、何とかこれまでとは違ったI・Mを考えましたが、しかし、やはり変わりばえのしないものと成りそうです。

もっとも、その理由はあるのですが、結果として冗漫と言われそうです。

## 1. 上半期の主なスケジュール

会長・幹事会：2回  
クラブ例会訪問：各クラブ1回  
クラブ協議会訪問：各クラブ1回  
GSEメンバー同行による夜間例会  
訪問：千歳・恵庭・長沼・由仁の各クラブ  
ガバナー公式訪問例会：2回  
由仁ロータリークラブ創立10周年式典

## 2. 所見

〈会員の減少及び拡大に関して〉

各クラブ共通の問題として会員の減少と拡大の困難さが挙げられる訳ですが、言うまでもなくこのことに関する特效薬など存在いたしません。只、減少及び拡大とも言えることはクラブの活動をより活発にすることであり、さらにその活動が地域作りに確かに貢献していると認識されるものであることが非常に大事なことであります。そのためにも活動テーマは、より検討されたものでなければなりません。特に、今日のように私たちを取り巻く諸環境が非常に厳しい時代にあっては、取り組む課題が「何か」によって、地域社会から受ける認知の度合いが大きく違うということなのであります。そうでなければ私たちの活動は、単なる慈善団体のそれと同じとしか受け取られないからであります。

〈青少年交換留学生に関して〉

各クラブとも、このテーマに関してこれまで積極的に取り組んできた経緯がありますが、会員の減少などに伴うクラブ運営上・財政上の問題で、今後とも継続的にこの事業に取り組むことが、非常に困難となっております。

各クラブとも、数年に1度の割合でしか、この事業に取り組めないというのが実情であるといえます。

よって、このような状況を踏まえ、今後は複数クラブで、またはグループ内事業として捉えられないであろうか、グループ内協議を要する案件といえます。



第8グループガバナー補佐  
郷司公雄

### 1 地区活動について

(1)ガバナー公式訪問について

初めての合同公式訪問の開催は、本来の趣旨が実行されるか心配しておりましたが、各クラブ会長さんの計らいで、事前に十分打ち合わせをするという新しい試みが功を奏し、初期の目的が十分発揮され、各クラブの交流と言うプラスアルファーもあり好評でした。

(2)地区大会について

当初参加人員の減少を心配しましたが、決まったあとでの無理な要請にも答えていただき、グループ内会員の皆様に感謝申し上げます。

### 2 グループ内の活動について

(1)グループ連携施策

静内クラブの交換留学生受け入れに際し、グループ内各クラブが、資金面の応援をすることとしたことは、今後も継続したい事業です。

(2)地域連携事業

植樹、清掃などはグループ内全クラブが実行している事業で、継続されています。

(3)啓蒙施策

今年は浦河クラブが啓蒙看板塔を設置し、町に寄贈するなど、各クラブが力を入れている事業で、PR活動に役立っております。

(4)記念事業

えりもクラブは、30周年を迎えて、当該クラブだけの式典とし、町へ寄贈の記念品に力を入れています。新しい型になるかもしれません。

(5)クラブ間交流事業

様似クラブとえりもクラブは、永年クラブ間交流を実施しておりますが、今年はパークゴルフと懇親会で交流を深めました。

(6)例会の工夫

各クラブは、出席率の向上と、クラブ内親睦を図るため、夜間例会、忘年会、家族との新年会等例会の持ち方を工夫し実施しています。



第9グループガバナー補佐  
斉藤修弥

新年度最初に発刊されたガバナー月信7月

号において、私は今期の目標を「ガバナーと各クラブとの意思疎通の強化」と定め、具体的にはロータリー年度の四半期に最低一回は各クラブを訪問すると発言しました。幸い前半期を終えた今、その約束は各クラブのご協力により何とか履行されております。振り返るとこれまで三つの印象深い事業がありました。第一は合同公式訪問例会です。第9グループを二つに分け、合同クラブ協議会とセットで開催しましたが、各クラブの友情あふれるご協力と、小林博ガバナーのお人柄が滲み出た感動的なスピーチにより、大成功裏に終えたものと確信しています。第二はRI-3830地区からのGSEチームの受け入れです。当初メンバーははじめ内容が不明で心配していましたが、滞在は思いのほかスムーズに終了しました。これにはホストクラブをお願いした伊達ロータリークラブの献身的活動のお陰によることは論をまちませんが、第9グループ全体が密接な連携のもと、チームワークをいかに発揮して対応したことが、好結果につながったと心から感謝しています。来道した6人の男女は何れも素晴らしいメンバーで、彼等が示した明るさ、正直さ、ひたむきさにあふれた言動は、現在の日本人がとすれば忘れがちな大事な何かを思い出させてくれた、という印象が残っています。第三の事業は地区大会です。従来手法とは異なり、簡略化された日程の中にも、ロータリー活動を深く省みる工夫が随所に散見された大会を、企画運営された事務局の皆さんに心から敬意を表します。その中でも初日に開催された記念フォーラムは圧巻で、「新世紀におけるロータリー運動の目標と戦略の決定」こそ、全てのロータリアンと協議したい意義深いものであったと感謝しています。確かに「慈愛の種がまかれた」前半期だけに、これから心して後半そ

の成長を育んでいきたいと張り切っております。



**第10グループガバナー補佐  
遠藤 哲二**

10グループ担当ガバナー補佐に就任して半年、いろんな勉強をさせていただきました。

『2510地区について』 なんとと言っても小林ガバナーのロータリーに対する改革、情熱を地区幹事、地区委員会が敏感に感じ取り、一つになって夫々が熱心な地区活動を展開し今までになかった活発な動きをみせていることです。

その一つの表れとしてのガバナー月信は素晴らしい内容となりました。いままでの月信はRI、地区からの一方的なお知らせだけだったのが地区と各クラブ、各会員との交流の場になっているし、読んで楽しい、ガバナーが積極的に会員と語り合おう、意見交換しよう、討論しよう、との姿勢が見えて豊かな明日のロータリーが見えてくる。そんな感じがいたします。

『10グループについて』 各クラブの例会、アッセンブリーに出席させていただいて感じたことは、夫々のクラブがその地域地域に根ざしたロータリー活動、奉仕活動を行っているという事です。会員はこの不況下、非常に忙しいところ、時間を割き仕事着のまま例会に駆けつけ会員同士の親睦を深め、それぞれのクラブはその地域が一番求めているものを感じ取り行動に移す。ロータリーの原点でありロータリーの心であります。思い知らされました。

また地区リーダーシッププランの第一歩としてのガバナーの公式訪問を10グループは郊外3クラブと一緒に、函館市内の2クラブは11グループの3クラブと一緒にうけました。2つのグループが合同での公式訪問だった訳ですが現状ではベターである、と思います。

又、10、11グループ合同のグループ研修会が10月12日、地区社会奉仕委員会の「社会奉仕活動に関する情報

交換」と一緒に開催しました。中身の濃い有益な社会奉仕に関する研修会でした。



**第11グループガバナー補佐  
松見 修二**

始めに担当グループ内の各クラブ奉仕活動報告を紹介します。

○函館東RC(吉川達也会長)

新世代委員会活動として、地域の授産施設『かいせい』にスチール棚を寄贈し作業の手伝いをしました。更に社会奉仕活動では市内の使用されていない中古ピアノ2台を発掘し、市内の保育園と渡島支庁の道民ホールへ寄贈し、コンサートを開催して好評を得ました。

○函館北RC(小笠原孝会長)

社会奉仕活動として毎年行われる奉仕事業で、ハワイアンバンド(ノース・アイランダーズ)が老人ホーム『こうじゅ(鴻寿)』へ慰問を行いました。この奉仕活動は上期と下期の2回行われ地域の施設から好評を得ています。

○上磯RC(増田幸久会長)

新世代委員会の活動として、交換留学生ガブリエル・マクミラン(ニューヨーク州)の受入、薬物乱用防止募金活動を行い地域の理解を得る活動を行いました。クラブとしては新世代に力を入れた活動をしています。

○函館五稜郭RC(能戸彰会長)

地域交流委員会活動として五稜郭公園で例年夏に開催される函館野外劇に出演参加し地域との交流を密にしています。更に、GSEが来函した時期にあわせ、五稜郭RC合唱団『DAM』によるチャリティーコンサートを開催し益金を財団へ寄付いたしました。

○江差RC(横内隆文会長)

公立はこだて未来大学 鈴木克也教授を招いて、『地域の現状と取り組み』をテーマに江差地域勉強会が開催されました。参加者は江差RC会員、江差経済界、江差産業界さらに江差町行政と各方面の方々の出席を得て十分な成果を収めました。

○松前RC(本間靖夫会長)

クラブの課題は会員の増強であって期首7名が1名増の8名と成っています。奉仕活動については地域に密着したものが後期に期待されます。

以上が各クラブの活動報告と成ります。

ガバナー公式訪問を函館市内クラブの10・11グループ合同で行ったことについて、結果的に一部から批判的声がありました。時間の節約経費の節減などDLPの完全実施を行うについては何ら不足は無いものと理解します。郊外クラブ(上磯、江差、松前)は少ない会員で公式訪問を受けるより、複数のクラブ合同の方が新しい絆が生まれると歓迎されました。

10月12日に『社会奉仕活動の現状と今後の課題』をテーマに対木地区社会奉仕委員長をお招きしてグループ研修会を10・11グループ合同で開催致しましたが、成果としては必ずしも良かったとは言えるものにありませんでした。

継続事業の報告が優先され、目新しいプログラムと今後の課題の部分が不発に終わったことに不満が残りました。グループ研修会は各クラブ協議会でテーマに沿った議論を充分なされた上で問題点を抽出し、本音で発表して頂く方法を取るべきものであったと反省しています。

会員の減少で奉仕活動が停滞しているクラブは、複数クラブ合同で奉仕活動を行う事によって温度差を無くする方策が生まれ、会員減少の問題を解決し、増強に繋がる成果となる事が期待されます。

これらの反省点を踏まえて後期は、RC歴の若い会員、新会員を対象に奉仕活動の原点を探ってワークショップを計画します。

テーマについてもグループ内から抽出していただき、奉仕の種を如何に播くかを探り、ボトム・アップを実践したいと思います。

DLPの完全実施によって、会員とガバナーの距離が遠くなるのではないかと懸念されましたが、ガバナー月信の充実により地区の情報伝達とガバナーの活動がつぶさに何うこと



が出来、地区と各グループが身近なものに成りました。



第12グループガバナー補佐  
川田憲秀

2002年～2003年が始まり、8月にガバナー公式訪問という日程でした。公式訪問の前に、各クラブを訪問しなければならないとのことで、日程の上で厳しい日が続きました。会長・幹事会の開催・クラブ協議会・例会訪問と各クラブの特徴を感じました。国際ロータリー会長のピチャイ・ラタクルさんの「慈愛の種を蒔きましょう」を話に行った時には、既に各クラブの活動計画が出来上がっていました。も

ちろん、継続の事業もあります。私は種を蒔くということは、床をしっかり作り、どんな花を咲かせるために、どんな種をどこに蒔くか……という検討が大切と考えました。それも、クラブ全員で意見の交換をして合意の上で実施しなければならないものだと認識でした。しかしながら、年度の事業計画には、ほとんど間に合わずに、今後の事業計画に活かされていくものではないのかと考えました。そんな中で、地区大会では「種を蒔いて、どんな花を咲かせたの……」という意見が言われるようになりました。どんな組織でも、方針を掲げて意識を共有するまでに、相当な時間がかかります。会員それぞれのロー

タリーの経験の差もあり、世代の差もあります。たいへん難しい課題です。少し強く説明をしようとすれば、「そんなめんどうくさいことなら、俺はやめる……」と言われてそうなのです。今まで、やってきたことをそのままやるんだったら……という雰囲気なのです。単年度の事業の最大の欠陥でもあります。ロータリークラブは、奉仕活動の団体であります。地域の奉仕活動と国際的な奉仕活動がバランスよく行われなければなりません。地域の奉仕活動が疎かになれば、会員のコンセンサスが得られず、会員の確保が困難になるからです。後半期は、アイエムなどでこの事を訴えていきたいと考えております。



回答  
・情報委員会委員長  
亀井敏清  
・ガバナー事務所

Q: クラブ予算には「一般(通常)会計」と「特別会計」の2つの会計予算がありますが、理事会で検討し特別会計から一般会計に取り崩し使用しても良いでしょうか?

A: 一般会計は会員の会費収入によって例会費・事務費・委員会費等の支出

が賄われ、特別会計はニコニコボックスからの収入で奉仕活動の支出に当てられるのが原則です。その支出は厳密に区分されるべきと思われるのですが、一般会計に支障を来たした場合の特別避難的な処置としての問い合わせとしてお答え致しますが、臨時総会を開催し会員の総意により決定するのが至当と思われます。理事会は管理主体であります。役員承認や予算・決算等金銭に関する事項は理事会で審議された後、総会の

決定に従うのが良いと思います。

Q: IMについて教えてください。

A: IM=Intercity Meetingの略称ですが、複数のクラブが集まり、ロータリーの特徴と計画について検討するもので、その目的は会員相互の親睦と面識を広め、会員にロータリーの情報を伝えるものであります。一般的にはグループ単位で開催されますが、複数のグループで共催されることもあります。

## これからの IMの予定

月日	時間	グループ	テーマ	会場	担当RC
2003年 2月15日(土)	13:30～	6	「こんな日本に誰がした。経済再生シナリオ」	余市中央公民館	余市
2003年 2月16日(日)	13:00～	8	「ロータリーの未来・夢を語ろう」	様似公民館	様似
2003年 2月22日(土)	13:00～ 18:00	4・5	「慈愛の種は家庭から」 一家庭生活をより豊かにする方法について	札幌ルネッサンスホテル	札幌幌南
2003年 2月23日(日)	14:10～ 19:00	9	①基調講演:命の尊さ「がんに挑む、がんに学ぶ」 ②「がんに関する何でも相談」	室蘭市市民会館 室蘭プリンスホテル(懇)	室蘭
2003年 3月 8日(土)	13:00～ 16:30	7	「まちに豊かさ楽しさ ・やすらぎをデザインする」	ホテル日航千歳	千歳セントラル
2003年 3月29日(土)	14:00～	10・11	「奉仕の理想 一ロータリーが失ってはいけないものとは一」 NPOを通してみる奉仕の比較	函館ロイヤルホテル	函館
2003年 4月 6日(日)	15:00～ 19:00	12	「慈愛の種を蒔きましょう」(仮)	白老中央公民館	白老
2003年 5月24日(土)	13:00～ 17:00	1・2	ポリオ撲滅について(仮)	赤平市文化会館	赤平

\*なお、第3グループは昨年9月14日に終了

## 竹山元RI理事、RI会長指名委員に

2005～2006年のRI会長を選出委員8人のうちの1人に、第1ゾーンの竹山涼一元RI理事(札幌南RC)が任命された旨、ピチャイ・ラタクルRI会長から1月10日付けで連絡があった。

# あらためてポリオ撲滅のための募金のお願い

国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 小林 博  
ロータリー財団委員会委員長 森本 正夫  
広報委員会委員長(ポリオ担当) 城木 浩一

**【ポリオとは】**ポリオウィルスの経口感染によっておこる幼児の小児麻痺poliomyelitisともいわれるものですが、死を免れた子供でも四肢の麻痺を残す悲惨な病気です。

**【なぜいま募金なのか】**1988年(日本では1991年)、ロータリーはポリオの募金を成功裡に終了しました。また、2000年10月、WHOは西太平洋地域におけるポリオ撲滅の勝利宣言をいたしました。しかし、それでポリオが地球上から消えたわけではありません。その後、世界の一部(アフリカとアジア一部)になおこの病気の発生が見られるため、このまま放置するとポリオが再び世界的に大流行するかもしれないとの危機感があります。いまこそポリオの完全撲滅を目指し最後のとどめをさす必要があります。

**【募金目標8,000万ドルの根拠】**1985年にロータリーがポリオの撲滅のキャンペーンを起こし、その後国連、WHO、ユニセフとの協力でポリオ撲滅に努力してまいりました。今回、国連、WHOやユニセフとの話し合いで、ロータリーの分担分として8,000万ドルの支援が求められています。他にも悲惨な病気はありますが、国際ロータリーは発足100周年の2005年までにポリオの撲滅を果たすべく、これをロータリーの最優先事項と決定しました。ちなみにロータリアンはじめ関係者の協力によってこれまで400万人の子供をポリオの発症から守ることができました。このことはロータリーとしての誇りでもあり、WHOからも高く称

賛されております。

**【何故そんなに金がかかるのか】**ポリオを予防するためにはポリオワクチンが必要です。ポリオワクチンは常温で活性を失いますので、常に低温保存しなければなりません。ポリオの流行は低開発国の山間僻地ですが、そのような地域に冷凍のワクチンを運ぶ人材、資材だけでも多額の費用が必要です。

**【送金明細書と誓約用紙】**募金分担額を日本のロータリアン1人当たりで計算しますと、100ドル～150ドルとなります。3年間の間に達成できれば良いのですが、「善は急げ」です。

「ロータリー財団への寄付・送金明細書」に記載してある所定の銀行口座に振り込むと共に、明細書は寄付分類③のポリオ・プラスの項を○で囲み、国際ロータリー日本事務局財団室へ送っていただきます。送金は各クラブでまとめていただくと、より効果的です。

なお、先にクラブ会長様宛にお送りした資料の中に「ロータリークラブ誓約用紙に記載して下さい」という記述がありますが、善意の寄付に対して誓約(Pledge)と云う言葉は不適当なので目標(Target)に変更になっています。善意の種子をよろしくお願い申し上げます。

募金は本来、財団委員会の仕事ですが、久しぶりのポリオ募金への会員各位への戸惑いを解くために、広報委員会にもポリオキャンペーンへの協力をお願いしたことをご報告しておきます。

## 国内地区別ポリオ・プラス寄付額一覧 (2002年7月～12月末)

単位：ドル

地区	ポリオ・プラス寄付額
2500	94,933
2510	7,842
2520	12,330
2530	30,999
2540	38,906
2550	49,203
2560	567
2570	55,348
2580	26,033
2590	68,824
2600	13,395
2610	26,953
2620	1,931
2630	93,334
2640	319,748
2650	128,072
2660	146,610
2670	88,134
2680	112,707
2690	180,336
2700	17,292
2710	98,558
2720	24,387
2730	4,120
2740	15,650
2750	28,120
2760	136,001
2770	50,965
2780	42,808
2790	4,050
2800	10,975
2810	5,692
2820	190,317
2830	1,140
2840	13,256
日本の合計	2,509,070
世界の合計	19,504,712

## 文庫通信



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ようこそロータリーへ

- ◎「ようこそロータリーへ 新会員へのオリエンテーション」 D.2650 2002 24p  
[申込先: 淵上勝夫 FAX (0779) 87-2560]
- ◎「ようこそロータリーへ」 D.2790 2002 27p  
[申込先: D.2790 FAX (047) 410-0776]
- ◎「ロータリー100年の歩み」 D.2700 2002 19p  
[申込先: ロータリー文庫]
- ◎「ロータリーに憶う一言・一句」 田中 弘 1999 6p  
[申込先: ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーの道しるべ」 長崎南R.C. 1987 128p  
[申込先: 長崎南R.C. FAX (095) 826-4756]
- ◎「ロータリー雑学のすすめ」 長崎南R.C. 1996 86p  
[申込先: 長崎南R.C. FAX (095) 826-4756]
- ◎「ロータリーの心をあなたも一入会のお誘い」 D.2650 2001 24p  
[申込先: D.2650 FAX (0742) 25-2651]
- ◎「アイウエオ!!—ロータリーの心と人生のイロハ—」 小林 博 2002 4p  
[申込先: D.2510 FAX (011) 222-1526]
- ◎「ロータリー情報集」 熊本グリーンR.C. 2002 317p  
[申込先: 熊本グリーンR.C. FAX (096) 354-4053]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

# ガバナー日記

## またスリランカに

年明けてすぐ、1月7日から13日まで息抜きを兼ねてスリランカに行った。医学生になって間もない孫との2人旅である。病院見学とともに遠藤年度以降に2510地区からプレゼントした凡そ1000台のベッドなどの医療器具がどのように使われているかを見るため、また現地の子供達への衛生教育にかかわる教科書の翻訳の進み具合を確認するためでもあった。

スリランカはこれで9回目になる。あまりしばしば行くので、ある人から「現地に彼女が出来たのでないか」と言われてびっくりしたことがある。そのあと同じような質問を受けると「ええ、彼女に会いに行くんですよ」と笑いながら答えられるようになった。

ロータリーで言うと、スリランカは一つの国が一つの地区(3220地区)で、現ガバナーのパスナマサンさんや直前ガバナーのビジェクマランさんとも会う機会があった。先方からまずベッドのお礼を言われた。さらにマッチンググラントを一緒に出来ないかとの打診があり、またGSEの交換希望などいろいろ前向きな会話が絶えなかった。

現地に多い口腔がんの予防など健康教育にかかわる教科書づくりの準備が始まってから2~3年になる。昨年の8月訪問のときに英語からシンハリ語への翻訳は60%出来たと言っていたが、今回もまだ60%とのこと。ということは作業はこの数か月何も進んでいないということである。昨年4月にテキスト完成の予定であったのに、余りにもゆっくりペースである。せっかちな性格の私には到底考えられないことだが、この際は我慢して相手側のペースに乗ってみることにした。鳴くまで待とうホトトギスである。

余談になるが、今回初めてヌアラエリアという観光地を訪ねた。スリランカ中央の一番の高地なので1年を通して快適な気温と晴天に恵まれ、この地域一帯で出来るセイロン茶が一番人気が高い。この一角に特に際立った欧風の「ヒルクラブ」という建物がある。ここにイギリスの植民地時代に作った社交クラブがあって、玄関横のボードを見ると1800年



わが地区から送られたベッドには世話クラブの名前が入っている。



コロomboの総合病院でみかけた看護学生。  
この病院はスリランカでもっとも施設のゆきといたところ。

代から毎年のクラブ会長の名が刻まれている。私どもの生まれるずっと前で、日本でいうと江戸時代になる。こんな遠い昔にイギリスはすでにアジアに目を向けていた。それ以前はポルトガル、オランダによる800年に近い植民地支配があった。私はこのヒルクラブで昼食を取りながらスリランカの被植民の苦悩の歴史を思い描くのだった。

## 子ども奉仕委員会の設立に向けて

ロータリーの目ざすものを私は2つに大別して考えたいと思う。1つはロータリーに入ったことで思いがけない人達との「出会いの縁」を持つことが出来ることである。これが親睦に繋がっている。もう1つは周辺に対する奉仕の心(慈愛の心)の実践である。この後者に関連しての話だが、現代社会だけでなく次世代への奉仕をということで、前号にも書いたように子ども奉仕委員会を設置し、これに米山道男氏(札幌北RC、地区幹事)が委員長に推挙されている。恐らく家庭奉仕委員会(和田壬三委員長)と二人三脚でうまくやっていただけそうである。これは既に佐藤秀雄ガバナーエレクトほか関係者との十分な話し合いの元で得られた了解事項である。

ちなみに札幌市内の3校(北九条小学校、幌北小学校、北辰中学校)をとりあえずのモデル校とし、学校教育の現場(たとえば課外授業)に關していただけるロータリアンの名簿を作成することとした。いずれにしても子ども奉仕委員会は関連する各種委員会、とくに家庭奉仕、職業奉仕、新世代などとの横の連絡を十分保ちながら進めていく必要がある。今後、子ども奉仕はロータリー活動の大きな柱になっていくことは間違いない。

## 9640地区ガバナーノミニーを迎えて

清水慧子青少年交換委員会委員長から9640地区(オーストラリアのクイーンズランドからニューサウスウェール



9640地区GNを迎えて。  
むかって右が佐藤GEと木村幹事エレクト、左が遠藤GNのご家族

ズにかけての地区)のガバナーノミニーのマーガレット・ヘイズさんがお孫さんを連れてご家族で雪の札幌を楽しみにくるとのこと。そこで我が地区でも決まって間もない遠藤秀雄ガバナーノミニーにも声をお掛けしようとなり、結局遠藤ノミニーもお孫さんらご家族の出席をいただいた。お二人のノミニーの間で親交をもっていたければ何よりである。お世話役は青少年交換委員、恵庭RC(早瀬源一会長)など関係者十数人で、1月15日夜には歓迎晩餐会を日本料理店で行なった。最後に佐藤秀雄ガバナーエレクトの一本締めで閉会とした。

9640地区の青少年交換はいろいろの国と進めているが、日本との間では我が2510地区とだけ行なってきたとこのことで、我が地区に対する彼地の大きな親近感が今回の訪問に繋がったようだ。ときあたかも9640地区からの交換留学生ティーガン・レイノルズさんが札幌に到着し(1月18日)、札幌北RCがホストにあたっている。

### ガバナー諮問委員会

1月17日(金)ガバナー諮問委員会が札幌グランドホテルで開かれた。前期決算と後期予算案についてはほぼ順調な経緯を説明した。また地区大会は関係者の努力によって予期以上の余剰金が出たことと、これの取扱いについてご意見をいただいた。

ついで、家庭奉仕委員会(和田壬三委員長)の活動の現況を説明し、また新たに「子ども奉仕委員会」(仮称、米山道男委員長)を作ろうとしている理由とその経緯を説明した。これは全国青少年育成委員会の動きに呼応し、既に佐藤ガバナーエレクト始め関係の委員会(新世代奥貫委員長、職業奉仕富岡委員長、社会奉仕対木委員長、国際親善奨学金土橋委員長ら)との数回の話し合いのもとに進められたものであることを説明した。

新しい委員会が増えることを予算面など心配するむきがある。しかし心配はない。委員会の数の増加には仕事の担当分野を明確にすることで責任の所在がはっきりする利点がある。さらに各委員会ごとの予算を削減しながらも

関連の委員会との合同会議など横の連絡を緊密にすることで効率的な運用が出来るであろうことを説明し了解をいただいた。

なお「ロータリアン宣言案」を初めて紹介した。これは米山道男地区幹事が中心になって作った原案だが、ロータリアンは何を求めているかのグローバルな夢をまとめたものである。当面の目標は提案の4項目について会員間の関心と議論を喚起することである。詳細は23ページに記載されている。



佐藤GEにアナハイムの饞別をさしあげる

ガバナー諮問委員会終了後、佐藤秀雄ガバナーエレクトご夫妻の国際協議会(カリフォルニア州アナハイム)出席の壮行懇親会を行なった。

### ガバナー補佐会議

第2回ガバナー補佐会議は1月18日(土)11時から16時まで札幌市内のホテルライフオフトで行われた。その中で会議の内容に関して私自身が書き残したメモを紹介したい。



左から木村幹事エレクト、佐藤GE、小林G

青少年交換はロータリー活動の1つの柱になっているが、従来のように1つのクラブで行うのは大変なことである。そこで第7、第8グループの提案のように個々のクラブとしてではなく、グループとしてやると意外と円滑に進むようだ。少なくともいくつかのグループ内で共同でやることでの負担軽減の効果は大きい。



左から角掛、和田、郷司、斉藤、遠藤各AG

新入会員に対するワークショップもあった方がよいのではないかと思った。せっかくの会員増強の努力で新入会員が入っても、何のフォローもなく彼らを放置しておくことでやがて退会してしまうケースが少なくない。新入会員に対する系統的な教育があまり行われていない反省に基づき、地区内で彼らがグループごとにでも集まり、あるいは宿泊を



伏木補助金委員長、若狹財団増進委員長

兼ねてロータリアンとの交流を深める機会があってもいい。したがってこれをワークショップとして位置付けることが出来れば、地区からの若干の資金援助を期待してもよいのではないかと。

年度後半のIMが目白押しだが、第3グループのように既にIM終了のグループもある。IMはガバナー補佐が必ずしもやらなければならないことではないが、IMが負担になっている向きも少なくない。この際、IMなるものの開催の是非について、また開催するとしてもガバナー補佐自身が担当しなければならないのかどうか、またテーマによってはワークショップとして切り換え開催できないものかなどの意見があった。いずれも傾聴に値する見解と理解した。

ガバナー公式訪問を合同例会にしたことによってガバナーとクラブ会長、会員との関係が疎遠になるとの危惧の声も聞かれた。公式訪問を合同例会にすることのメリットが強調され評判も良かったようであるが、マイナス面を無視してはいけ



左から辻野、村山、和田、郷司、斉藤の各AG

ない。そこで私は後半のIMの前後でも良し、また独自の時

でも良し、ご希望があれば個別のクラブ訪問をガバナーの準公式訪問とすることに何らやぶさかでないとして申し上げ、ガバナー補佐あるいはクラブ会長からのお申し出を歓迎する旨をお伝えした。

子ども奉仕委員会について米山幹事から紹介があった。その経緯は既に書いたとおりであるが、子どもという名称を検討したらよいとの意見もあった。また、小中学生に対する授業への参加などは苦小牧RC(第12グループ)で10数年前に既に実施済みとの紹介もあった。

組織のスリム化にも話が及んだ。今年度は地区内にいくつかの委員会を新設した。これによって予算が大きく膨らむとの心配の声が大きいのである。だが委員会の数を増やすことによる予算増は誤解であることをここでも強調しておきたい。委員会を増やした理由はそれぞれの委員会活動の責任分担を明確にするためのものであり、しかも個々の委員会の予算は大幅に削減している。さらに関連する委員会の横の連絡を緊密にすることで、委員会開催を共同で行うなど効率化を心掛けることによって、予算削減以上の成果も期待できると考えている。従って委員会増イコール予算増ではないことを十分ご承知いただきたいと思う。

地区大会は無事に終了し大方の会員からは好評のようで

心から嬉しく思っている。また地区大会幹事の大変なご努力によって、概算ではあるが岩城年度から繰り越された98万円とは別に、4百数十万円の余剰金を出せる見通しになってきた。地区大会は赤字になるかもしれないという危機感から各クラブから会員の登録促進をお願いしてきたが、幸いなことに思いがけない余剰金が出たのである。これは大会運営の努力と工夫によって、また個人的な経費の節減によって生み出されたものと理解していただきたい。いずれにしてもこの余剰金をどのように使ったら良いかの意見をガバナー補佐の皆さんにお願いしたが議論百出で結論には至らなかった。最終的にガバナーに一任ということになったが、恐らく地区の一般会計に組みこむことになると思う。

### 余暇を沖縄に

ガバナーになって家内をほっぽり投げたままだった。プライベートと一緒に一度もどこにも行っていない。「家庭奉仕委員会を作って、何が家庭奉仕なのか？」と家内に皮肉られたこともある。

地区大会も終わり、少し気持ちの余裕も出来てきたので、1月19日から22日まで沖縄のゴルフ旅行に出掛けた。厳寒の北海道から遠く常夏の沖縄、彼岸桜も咲き、まさに別天地。これでちょっとばかりの家庭奉仕になったかと思う。

ただ残念ながら20日午後、ガバナー事務所からの電話で当別RCの松田浩一会員が急逝されたとのこと。昨年8月にスリランカの医療事情の視察に出掛けたとき大変お元気であっただけに何とも言いようのない辛い気持ちになった。帰札后ご自宅に弔問した。心からご冥福を祈るだけである。

1月27日(月)は大通公園RCにてポリオの話をする。幹事の長谷川美栄子会員からポリオの資料を欲しいとのご依頼であったが、資料提供の代わりに私の方から出向くことを申し出たのである。幸い遠藤正之パストガバナーら幌南RCのお3人の参加があった。遠藤先生は小児科の専門であり、私のポリオの話の足りないところを専門的視野で補足して下さりおおいに助かった。



石田誠会員(札幌手稲RC)の叙勲の祝には多数のロータリアンが出席。石田会員から国際ロータリーへの寄付もいただいた。石田夫人と握手。

## 地区活動 紹介

### 家庭奉仕に関する 参考図書のご紹介



家庭奉仕委員会

委員長 和田壬三(札幌南RC)

家庭奉仕について、バイブル的な図書は、現在のところ存在しませんので、様々な切り口で、家庭奉仕に関する図書に当たるしかありませんが、今回は、参考になりそうな図書数点を紹介します。

#### 『子育て崩壊!』(宝島社文庫)

現在における家庭の状況について、様々な視点から、ルポルタージュ風に切り込んでいます。多数のライターが、多数の社会現象について、記述しているため、矛盾する記述もありますが、じっくりお読みいただければ、それなりに納得できる書です。新聞報道では得られない、真実に迫った書です。

#### 『新親孝行術』みうらじゅん著(宝島社文庫)

親孝行をプレイと考える奇抜な書であるが、家族の本質を鋭く洞察して、対処方を分かりやすく提示しています。論理が一貫している大変読みやすい有意義な書です。

#### 『小学校絶体絶命』(宝島社文庫)

現在進行している、新教育課程の中で、成功している事例や問題点などについて、具体的なケースを取り上げて、各作者が執筆しています。

小学生に徹底的に読み書きそろばんの基礎学力を身につけさせることにより、小学生の学力が、奇跡的に伸び、多くの優秀な生徒を、医学部や有名大学の優秀な学部に進学させているばかりか、かえって、ゆとりの時間が生まれて、十分新教育過程(学習時間を削って、生徒の個性を伸ばす、自由時間を増やす)をこなしている兵庫県朝来町立山口小学校の例。(ちなみに同小学校は、もともと町内でも最も学力の低い農村地帯の小学校であった。)

東京都品川区における初めての試みである、学校選択性の試みについて、その目的と、現状について、問題点を指摘している。

「ゆとり教育」が、現実には、学力低下と教育の階層化(私学と公立の学力格差)をもたらすと共に、それでも学力の低い

生徒には、現実肯定が認められるといった現在教育現場で進行している問題点について指摘している。

#### 『親業』(子供の考える力を伸ばす親子関係の作り方) トーマスゴードン著近藤千恵訳(大和書房)

親子のコミュニケーションの本質を分析した上で、正しいコミュニケーションを指導することにより、子供の成長する力を助けるばかりではなく、ほとんど全て間違っていた、子供に対する接し方を直すことにより、歪んだ家庭内の問題を解決することができることを、実践例を通して、紹介すると同時に、この書を訓練の道具として使用することも可能な教材でもあります。何度も繰り返し読み実践することをお勧めします。親子の関係で記述していますが、コミュニケーションの技術ですから、夫婦、や対人関係の改善のためにも応用できます。

などですが、2000年12月に出された、教育改革国民会議の最終報告には、「教育の原点は家庭である」ということが真っ先に指摘されています。家庭の教育機能について、もう一度見直すべきではないかと思えます。

なお当委員会は、4月から、全ロータリアンを対象に家庭奉仕に関するワークショップを行う予定です。関心のある方は、下記にご連絡下さい。

4月は、12日(土)に、「子育てに影響する食品」について、拓殖大学深川校の教授である相馬先生を講師にお願いして実行する予定です。

### 北海道で再会。 香港キングスパークRAC



ローターアクト委員会

柳 孝一(札幌南RC)

昨年3月7日(木)～10日(日)3泊4日の日程でローターアクト6クラブ10名、地区委員2名(函館東RC今井、札幌南RC柳)の合計12名で香港へ海外研修旅行に出掛けました。目的は、香港のローターアクトとの交流と麻薬治療施設の慰問でした。日程の3カ月前から、E-mailで香港のアクトと打合せをし、セッティングしました。香港の空港で予定外に地元アクターの出迎えを受け、驚きました。翌日はアクトの案



新生園の皆さん、香港のRACと日本食調理中(2002年)



雪の中で記念撮影キングスパークRAC

内で夜遅くまで市内観光です。仕事や学校の都合をやりくりして、我々をもてなしてくれる行動に感動し、感謝しました。

3月9日、地元アクター6名と香港郊外の麻薬中毒患者治療施設「愛育園」へ伺い、入所者13名スタッフ2名の人員で入所者の方から園の説明を受け、入所した経緯や今の思いを披露していただきました。2510地区からも日本の麻薬患者について赤平RAC竹村君(看護師)が、日本の病院での対応などを説明、また質問を受けるなど活発に展開しました。また我々から日本食のプレゼント、用意した食材で天ぷらとお好み焼きをみんなで作り、テーブルを囲みお互いがうち解けた感がありました。我々が訪れた証と融和を願う気持ちで、植樹を行いました。全員が土をかけ、2510地区のプレートをかけ、最後に日本から携えたお土産をプレゼント。限られた時間で言葉も満足に通じない中、そこに滞在中にいろいろのことを気づかせてくれました。そのようにセッティングしてくれた地元アクターに感謝しました。翌日、最後までつき合ってくれたアクトの見送りを受け帰路へ。



バナー交換、右端が中塚委員長

この旅行で地区内アクトの結束がなされたこと、香港のアクトの熱い歓迎を受け、4日間ともに行動をし、また会うことを約束し別れたことは、今後のアクト活動のみならず、日々の生活にも良い影響があるものと信じ、研修旅行が終わりました。

その後、アクト同士メールのやりとりをしているのは聞いていましたが、その1年後約束通り、北海道で再会できる事は本当に嬉しい出来事でした。1月15日、北海道にやってきた彼らは、札幌でスキーを体験し、ススキノで歓迎会で盛り上がり、小樽で観光と温泉を楽しみ、富良野ではコテージを借り切り、地区のアクト15

名、中塚ローターアクト委員長(岩見沢RC)も参加し、総勢26名で交流会を開催。スキーや温泉、ゲームなどで夜遅くまで親睦を深めました。19日には札幌でアクト(札幌北RAC尾形君)の自宅でホームステイ、日本の家庭も体験いたしました。1月20日無事全行程を終え、帰路へ。

昨年、の熱烈で終わりのない歓迎を香港のローターアクターに受け、「来年は北海道で」という約束を果たしてくれた香港キングスパークローターアクトの皆さんには本当に感謝です。札幌の雪をも溶かす彼らのエネルギーを十分に感じました。ロータリーという共通の価値観は、多少の差はあるにせよ世界共通であるということを確認した1年越の出来事でした。今まで、国際交流を目的に海外研修へ出掛けていますが、昨年香港で観光ではなかなか味わえない、現地の人々と触れ合う一つの行程は、感動と感謝の研修旅行でした。我々の感動や感謝の気持ちが伝わったのか、彼らは1年後、クラブの海外研修に北海道を選び、再会することが出来ました。私の知る限り、海外研修で訪れたところのアクトが公式な行事で、訪問してくれるのは非常に珍しい事でしょう。再々会があれば、もっと素晴らしい事です。期待したいです。今回フル活動の尾形君(札幌北RAC)に感謝します。



スキーを楽しむ両地区のアクト

## “国別部会”への御協力を

地区幹事

米山道男(札幌北RC)

ロータリーの活動の大きい柱の一つは、国際的な相互理解と相互支援の促進です。一方、多くのロータリアンは、ロータリー活動とは別に、それぞれ、縁のある国、思い入れのある国があって、様々な国際交流に関わっています。しかし、一人が交流できる時間とエネルギーは限られています。そこで、それぞれの国について、関心のあるロータリアン同士が集まって活動すれば、第2510地区全体としては、様々な国と深い交流ができるのではないかと考えました。

この活動は、ロータリアン(および一般市民)が、外国に関心を持つことを促し、

それぞれ関心を持っている外国に関して一層の知識と理解を深める事を促し、また、その国の人達との交流やその国の人達への支援を通じて、一層豊かな友好親善と貢献の実を上げることを目指すものです。

現在、地区の友情交換委員会がこの企画の纏め役として活動を開始しています。まず、地区内の何人かのロータリアンに呼びかけて、世界の国別の部会(例、タイ部会など)の責任者になっていただきます。次に、部会の責任者は、ガバナー月信などを通じて、広く地区内ロータリアンに呼びかけて同好の士を募り、部会を開催します。

各部会は、それぞれ自由に活動案を練り、自由に活動します。例えば、

- (a) その国に関する知識と理解を深める。
  - ・定期的にその国に関するロータリアンどうしの勉強会を開く。
  - ・北海道在住のその国の人を講師に招いて勉強会を開く。
  - ・その国への観光や調査の旅をする。
- (b) その国の人々と交流する。
  - ・北海道在住の、その国の人達との交流会を開く。
  - ・その国の人達を北海道に招いて、あるいはこちらから出向いて交流する。

- ・その国に関するロータリー以外の会(例、日豪協会)との交流会を開く。
- (c) その国の人々を支援する。
  - ・北海道在住の、その国の人達への支援活動を行う。
  - ・その国に在住する人達への支援活動を行う。

手初めに実行可能な具体的な活動として、上記(b)の第1項について1例を挙げれば、「モンゴリアン・ナイト」などと名付けた交流の夕べを、土曜日の午後5時から8時までで開催することなどが考えられます。ロータリアンへはガバナー月信などで、一般市民へは新聞などで、留学生へは大学の事務室やポスター掲示などを通して、広く参加を呼びかけます。前半はモンゴル人によるモンゴルの話(国の概況、社会問題など)、後半は交流パーティー(この中で、モンゴル人によるモンゴル文化の紹介—踊り、歌、遊び、衣食住など)、などとしてはいかがでしょうか。

地区内のロータリアンは皆、様々な知識・経験・能力を持つ優れた人達です。将来は、多くのロータリアンに国別部会に会員登録(複数の部会への登録も可)をしていただき、その人達を中心にして、交流の夕べのようなものだけでなく、上記の種々の活動などを継続発展させていけば、素晴らしい、有益な事業になることと思います。

## ビチャイ・ラタクルRI会長歓迎会のご案内

ビチャイ・ラタクル国際ロータリー会長が4月24日～26日札幌を訪問されることになりました。現職の国際ロータリー会長の北海道訪問は、1988年度のケラー会長以来のこととなります。

伊藤義郎RI元理事と竹山涼一RI元理事が招集者となり、下記により札幌、札幌南RCがホストとなり歓迎会を開催いたします。

歓迎会の持ち方につきましては現在検討中でありますので、参加人数などの取りまとめのお願いなどは後日改めて正式にご案内をいたしますが、多くの会員の皆様にご参加下さいようお願い申し上げます。

記

日時	平成15年4月25日(金) 12:00～14:00
場所	札幌パークホテル (札幌市中央区南10西3 TEL011-511-3131)
登録料	5,000円

尚、歓迎会のホストを札幌、札幌南RCが担当いたしますが、札幌市内で金曜日を例会日としている札幌幌南、札幌あけほのRCとの合同例会として歓迎会を運営いたします。ご参加いただく会員の皆様はメイクアップになりますので、多くのご参加をお待ち申し上げます。

札幌ロータリークラブ会長 荒 紀男  
札幌南ロータリークラブ会長 中島一郎

## 喜びをともに ❖新入会員紹介

							
吉田健司 (羽幌)	村田 武 (赤平)	佐野鉄男 (赤平)	山田賢司 (砂川)	大下敏夫 (砂川)	松原重俊 (砂川)	川合克彦 (岩見沢)	沢田慎一 (岩見沢)
							
森山英次 (岩見沢)	本庄昭良 (栗沢)	桃井正昭 (栗沢)	藤井利一 (栗沢)	橋本肇丘 (当別)	宮松 忍 (札幌西)	浜松義弘 (札幌西)	乙黒千秋 (札幌手稲)
							
小泉純二 (札幌東)	遠藤敏哉 (札幌清田)	関 肇吉 (札幌幌南)	五十嵐成夫 (札幌セントラル)	石垣博美 (札幌セントラル)	上野 了 (札幌セントラル)	臼木 篤 (札幌セントラル)	内山滋子 (札幌セントラル)
							
小坂祥司 (札幌セントラル)	五木和香 (札幌セントラル)	佐々木圭子 (札幌セントラル)	佐々木春代 (札幌セントラル)	芹田 馨 (札幌セントラル)	高田善宏 (札幌セントラル)	高橋逸子 (札幌セントラル)	田中 宏 (札幌セントラル)
							
出口雄一 (札幌セントラル)	羽賀俊夫 (札幌セントラル)	長谷川久夫 (札幌セントラル)	日色無人 (札幌セントラル)	町田莊一郎 (札幌セントラル)	丸山知子 (札幌セントラル)	山本憲昭 (札幌セントラル)	山本 元 (札幌セントラル)
							
若山登美子 (札幌セントラル)	マイケル・パンバーグ (小樽)	堀岡秀之 (小樽)	泉 侑 (小樽)	山本克郎 (千歳)	阿部 悟 (千歳)	角 哲雄 (登別)	井上 司 (函館亀田)
							
酒谷裕幸 (函館亀田)	鷺山宣裕 (函館亀田)	鈴谷逸男 (江差)	三川明治 (江差)	渡部二康 (函館北)	木戸正彦 (白老)	堀田仁史 (白老)	高柳直己 (苫小牧東)
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>国際ゴルフ大会のご案内</b></p> <p>バンコック東RCより、国際ゴルフ大会を5月7日、バンコックのゴルフコースで開催するとの案内が来ております。出席希望のお問い合わせは、ガバナー事務所 (Tel. 011-219-2510) をお願いいたします。</p> </div>					
櫻井謙二 (苫小牧北)	鶴岡武司 (苫小牧北)						

### 『会員名簿』増刷のお知らせ

前号にお知らせしましたように初版の第1刷は好評につき第2刷を増刷致しました。第2刷では第1刷の不鮮明であった深川RCの顔写真は第2刷で修正されております。その他若干の手直しがあります。購入ご希望の方はクラブを通してお申し込み下さい (送料込み1冊1000円)。



## 2002-03年度 ロータリークラブ会員調査

さきに地区内全クラブ会員を対象に行ったアンケート調査の集計が終わりました。ご協力大変有難うございました。集計結果は別表に示す通りですが、その分析結果についてはクラブ奉仕委員会で行ったあと、改めて『月信』でご紹介いたします。

個別の自由意見については、次号の『月信』3月号にて出来るだけガバナーの「回答」を添えて掲載を考えております。

また、クラブ毎の集計も終えておりますので、「地区」「グループ」「クラブ」の集計を各クラブにお送りさせていただきます。クラブ奉仕委員会・理事会等で分析下さりご活用下さい。ガバナー事務所

- |  |   |  |
|--|---|--|
| <p>問1 地区大会にはどの程度参加しておりますか</p> <p>問2 青少年交換・ホームステイ・留学生カウンセラー、植樹作業など、クラブの奉仕事業への参加（寄付だけの参加は除く）はいかがですか</p> <p>問3 クラブのインフォーマルミーティングへの参加はいかがですか</p> <p>問4 クラブ会報、ガバナー月信、ロータリーの友をどの程度読まれますか</p> <p>問5 メーキャップの経験はありますか</p> <p>問6 クラブの会員増強のための活動にどの程度協力しておりますか</p> <p>問7 クラブの各種同好会への参加はいかがですか</p> <p>問8 ロータリー財団への寄附についてお聞きします</p> <p>問9 米山奨学会への寄附はいかがですか</p> <p>問10 あなたはどのようにしてロータリークラブへ入会しましたか</p> <p>問11 クラブに入会を決意するとき、つぎのどの点を最も重視しましたか</p> <p>問12 今日までのロータリーライフを振り返ってみて、あなたのお考えはどちらに近いですか</p> <p>問13 ロータリーに入っていることを誇りに</p> | <p>に思いますか</p> <p>問14 あなたはこれからもロータリー活動を続けたいと思いますか</p> <p>問15 ところで、クラブからのロータリー情報はどのように得られていますか</p> <p>問16 ロータリー活動で得た考え方や習慣を、他団体の活動などに応用したことがありますか</p> <p>問17 あなたのクラブはまとまりがある方ですか</p> <p>問18 クラブの例会は楽しいですか</p> <p>問19 クラブの奉仕活動についてお尋ねします</p> <p>問20 あなたのクラブの財団寄附はどの程度だと思えますか</p> <p>問21 新会員に対して、クラブとしてロータリー情報が提供されていると思いますか</p> <p>問22 ロータリーは理念だけではなく理念に立脚した行動を求めています、あなたはどう思えますか</p> <p>問23 ロータリーの将来展望について、あなたのお考えをお聞かせください</p> <p>問24 これからの会員増強についてあなたはどのようにお考えですか</p> <p>問25 女性会員の入会についてあなたのお</p> | <p>考えをお聞かせください</p> <p>問26 ロータリーは社会から認知されていると思いますか</p> <p>問27 最後に、あなたご自身の日頃の生き方についてお尋ねします<br/>人間にはいろいろな生き方がありますが、あなたの生き方に一番近いものはどれですか。次にあげるものの中からひとつだけ○をつけてください。</p> <p>問28 あなたの生き方は次の [甲]・[乙] どちらの生き方に近いですか<br/>[甲] 他人の面倒をみてあげることが多く、他人から頼られる方<br/>[乙] リーダーになって苦労するよりは、気楽に従う方が多い</p> <p>問29 では、生き方はどうでしょうか<br/>[甲] 古いものは、長い間ずっと受け継がれ残ってきたので、できるだけ残そうとする方<br/>[乙] できるだけ新しいものを取り入れて、どんどん改革していくほうだと</p> <p>問30 ところで、これからも定期的に継続して、このようなアンケートを実施することについて、どのようにお考えですか</p> |
|--|---|--|

### アンケート結果集計報告

(上段：人数、下段：%)

質問	回答項目	グループ													
		地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
回答率	会員数	3,484	189	266	384	466	466	360	209	183	281	247	246	187	
	回答者数	1,758	113	133	218	200	209	168	130	98	127	111	139	112	
	回答率	50	60	50	57	43	45	47	62	54	45	45	57	60	
クラブ活動について	1. 地区大会への参加	いつも参加	857	63	69	125	81	89	81	74	61	66	36	52	60
		ときどき参加	49	56	52	57	41	43	48	57	62	52	32	37	54
		未参加	613	26	36	55	74	87	61	60	29	39	48	58	40
	2. 奉仕事業への参加	よく参加	35	23	27	25	37	42	36	46	30	31	43	42	36
		参加経験あり	270	9	26	32	37	33	25	15	7	22	27	27	10
		未参加	15	8	20	15	19	16	15	12	7	17	24	19	9
	3. インフォーマルミーティングへの参加	原則参加	488	28	37	56	48	31	41	64	46	36	29	36	36
		ときどき参加	28	25	28	26	24	15	24	49	47	28	26	26	32
		参加しない	769	37	56	87	88	99	79	47	35	68	47	69	57
	4. 会報・月信・友の購読頻度	よく読む	44	33	42	40	44	47	47	36	36	54	42	50	51
		ときどき読む	461	32	38	71	58	79	44	18	16	23	35	31	16
		未参加	26	28	29	33	29	38	26	14	16	18	32	22	14
3. インフォーマルミーティングへの参加	原則参加	785	54	57	93	113	108	78	6	55	53	43	68	57	
	ときどき参加	45	48	43	43	57	52	46	5	56	42	39	49	51	
	参加しない	596	27	48	72	66	73	65	43	26	52	42	45	37	
4. 会報・月信・友の購読頻度	よく読む	34	24	36	33	33	35	39	33	27	41	38	32	33	
	ときどき読む	217	13	20	37	15	25	15	20	3	15	23	18	13	
	未参加	12	12	15	17	8	12	9	15	3	12	21	13	12	
4. 会報・月信・友の購読頻度	よく読む	621	32	48	89	68	59	64	61	27	51	35	47	40	
	ときどき読む	35	28	36	41	34	28	38	47	28	40	32	34	36	
	未参加	957	59	81	116	104	125	92	59	60	64	59	73	65	
4. 会報・月信・友の購読頻度	よく読む	54	52	61	53	52	60	55	45	61	50	53	53	58	
	ときどき読む														
	未参加														

質問	回答項目	グループ													
		地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
クラブ活動について	あまり読まず	153	8	7	8	25	27	11	11	10	12	14	17	3	
		9	7	5	4	13	13	7	8	10	9	13	12	3	
	5. メーキャップの経験	ほとんどない	563	43	51	75	32	24	64	44	49	60	43	36	42
			32	38	38	34	16	11	38	34	50	47	39	26	38
		ときどきある	965	45	69	106	118	153	91	75	44	61	56	85	62
			55	40	52	49	59	73	54	58	45	48	50	61	55
	6. 会員増強への協力	かなりある	196	10	11	33	46	32	12	10	3	6	12	16	5
			11	9	8	15	23	15	7	8	3	5	11	12	4
		積極的	355	27	27	51	33	33	41	32	21	37	6	22	25
			20	24	20	23	17	16	24	25	21	29	5	16	22
	7. 同好会への参加	協力したことあり	898	46	73	112	101	99	90	70	50	60	68	71	58
			51	41	55	51	51	47	54	54	51	47	61	51	52
推薦・紹介なし		473	25	31	50	61	77	36	26	26	29	38	46	28	
		27	22	23	23	31	37	21	20	27	23	34	33	25	
8. ロータリー財団への寄付	積極的	551	42	50	69	54	50	43	48	44	56	31	36	28	
		31	37	38	32	27	24	26	37	45	44	28	26	25	
	ときどき参加	821	38	68	111	99	114	84	55	37	59	44	61	51	
		47	34	51	51	50	55	50	42	38	46	40	44	46	
9. 米山奨学会への寄付	参加経験なし	335	17	13	36	43	45	34	25	16	10	35	30	31	
		19	15	10	17	22	22	20	19	16	8	32	22	28	
	積極的	522	32	40	77	63	64	29	59	21	38	34	30	35	
		30	28	30	35	32	31	17	45	21	30	31	22	31	
10. どのようにして入会したか	お付き合い	934	61	80	103	88	116	93	67	62	49	70	77	68	
		53	54	60	47	44	56	55	52	63	39	63	55	61	
	経験なし	280	5	10	33	44	28	43	2	19	41	16	30	9	
		16	4	8	15	22	13	26	2	19	32	14	22	8	
11. 入会を決意するとき、重視した点	積極的	405	26	26	61	46	56	21	57	15	28	20	26	23	
		23	23	20	28	23	27	13	44	15	22	18	19	21	
	お付き合い	820	58	69	91	82	102	76	59	40	47	65	67	64	
		47	51	52	42	41	49	45	45	41	37	59	48	57	
ロータリーに対する考え	経験なし	484	14	34	60	65	50	66	13	42	52	20	44	24	
		28	12	26	28	33	24	39	10	43	41	18	32	21	
	自ら希望	92	1	8	11	18	11	10	8	4	8	4	3	6	
		5	1	6	5	9	5	6	6	4	6	4	2	5	
	人から推薦	1,475	87	113	186	163	182	140	109	82	103	94	121	95	
		84	77	85	85	82	87	83	84	84	81	85	87	85	
	役職上	151	10	9	17	13	15	17	11	10	15	15	8	11	
		9	9	7	8	7	7	10	8	10	12	14	6	10	
	12. 今日までのロータリーライフを振り返って	ステータス	276	16	22	31	38	36	22	14	14	22	19	21	21
			16	14	17	14	19	17	13	11	14	17	17	15	19
		ビジネスの拡がり	316	17	18	43	32	51	31	20	19	28	20	23	14
			18	15	14	20	16	24	18	15	19	22	18	17	13
異業種交流		908	47	70	100	109	116	84	62	58	77	72	56	57	
		52	42	53	46	55	56	50	48	59	61	65	40	51	
奉仕活動		597	31	41	54	69	78	50	40	48	45	35	72	34	
		34	27	31	25	35	37	30	31	49	35	32	52	30	
13. ロータリーに入っていることを誇りに思うか	交友関係	1,083	62	85	144	98	129	105	81	62	81	71	92	73	
		62	55	64	66	49	62	63	62	63	64	64	66	65	
	その他	35	4	2	3	7	2	2	2	2	2	1	5	3	
		2	4	2	1	4	1	1	2	2	2	1	4	3	
14. これからもロータリー活動を続けたいか	特になし	148	9	12	15	20	22	16	13	7	8	7	11	8	
		8	8	9	7	10	11	10	10	7	6	6	8	7	
	これからも楽しみたい	794	39	54	97	82	91	78	63	40	64	74	61	51	
		45	35	41	44	41	44	46	48	41	50	67	44	46	
15. 情報の入手方法	続けたい	675	34	59	77	78	82	58	52	44	49	55	53	34	
		38	30	44	35	39	39	35	40	45	39	50	38	30	
	機会があれば辞めたい	265	24	17	37	29	32	25	13	10	11	11	33	23	
		15	21	13	17	15	15	15	10	10	9	10	24	21	
16. ロータリーで得た考え、習慣の他団体への応用	例会	1,389	81	108	174	159	159	134	100	74	104	92	117	87	
		79	72	81	80	80	76	80	77	76	82	83	84	78	
	情報誌など	312	19	24	35	29	30	33	26	16	22	21	12	45	
		18	17	18	16	15	14	20	20	16	17	19	9	40	
17. 自分のクラブはまともは？	十分得られていない	62	1	1	7	13	12	5	5	2	1	3	9	3	
		4	1	1	3	7	6	3	4	2	1	3	6	3	
	積極的に応用	226	11	17	32	23	26	22	13	8	12	36	11	15	
		13	10	13	15	12	12	13	10	8	9	32	8	13	
18. ロータリーで得た考え、習慣の他団体への応用	応用経験あり	950	51	71	123	106	117	100	76	51	79	43	72	61	
		54	45	53	56	53	56	60	58	52	62	39	52	54	
	応用経験なし	513	34	39	56	63	65	43	39	33	33	23	54	31	
19. 自分のクラブはまともは？		29	30	29	26	32	31	26	30	34	26	21	39	28	
	大変良い	741	36	60	90	76	120	69	53	33	72	36	54	42	

質問	回答項目	グ ル ー プ													
		地 区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ロータリーに対する考え	18. 楽しいクラブ例会か？	42	32	45	41	38	57	41	41	34	57	32	39	38	
		まあまあ	895	60	67	111	100	83	91	74	57	49	68	77	58
	あまり良くない	70	1	2	9	24	5	3	2	3	4	3	6	8	
		4	1	2	4	12	2	2	2	3	3	3	4	7	
	非常に楽しい	339	16	21	47	38	53	28	35	17	43	11	17	13	
		19	14	16	22	19	25	17	27	17	34	10	12	12	
		1,286	73	102	159	142	145	130	89	75	77	95	110	89	
	まあまあ	73	65	77	73	71	69	77	68	77	61	86	79	79	
		80	8	8	6	12	10	6	5	2	5	3	9	6	
	早く帰りたい	5	7	6	3	6	5	4	4	2	4	3	6	5	
		861	55	73	108	80	90	76	72	63	72	56	69	47	
	非常に活発	49	49	55	50	40	43	45	55	64	57	50	50	42	
		764	41	50	94	103	111	70	55	29	48	48	64	51	
	あまりしていない	43	36	38	43	52	53	42	42	30	38	43	46	46	
706		57	74	70	95	128	47	55	32	36	27	44	41		
平均以上	40	50	56	32	48	61	28	42	33	28	24	32	37		
	677	32	40	107	54	47	79	47	41	64	58	59	49		
ほぼ平均かそれ以下	39	28	30	49	27	22	47	36	42	50	52	42	44		
	302	7	13	34	40	33	28	26	20	25	24	35	17		
知らない	17	6	10	16	20	16	17	20	20	20	22	25	15		
	284	21	34	35	25	35	28	31	17	15	12	14	17		
21. 新会員に対するロータリー情報の提供は？	熱心	16	19	26	16	13	17	17	24	17	12	11	10	15	
	ある程度	1,137	60	81	143	127	145	103	80	69	91	72	90	76	
	65	53	61	66	64	69	61	62	70	72	65	65	68		
あまり	278	16	14	36	39	26	33	17	7	19	23	32	16		
	16	14	11	17	20	12	20	13	7	15	21	23	14		
22. 行動を求めるロータリーへどのように関わりたいか	積極的に	1,300	75	104	160	146	152	127	102	73	95	80	102	84	
	74	66	78	73	73	73	76	78	74	75	72	73	75		
参加したくない	312	21	21	43	36	44	25	23	15	19	20	26	19		
	18	19	16	20	18	21	15	18	15	15	18	19	17		
23. ロータリーの将来展望は？	原点復帰すればなお発展	797	33	68	101	90	92	79	63	44	55	50	71	51	
	45	29	51	46	45	44	47	48	45	43	45	51	46		
	865	64	57	101	103	108	83	62	38	66	58	65	60		
このままでは衰退	49	57	43	46	52	52	49	48	39	52	52	47	54		
	1,412	75	105	184	161	163	136	111	77	106	86	110	98		
24. これからの会員増強について	常時新会員を補充すべき	80	66	79	84	81	78	81	85	79	83	77	79	88	
	262	23	20	26	25	41	24	19	15	17	16	24	12		
現会員を維持すべき	15	20	15	12	13	20	14	15	15	13	14	17	11		
	1,410	91	114	181	156	157	135	117	87	111	85	100	76		
25. 女性会員の入会について	前向きに考えるべき	80	81	86	83	78	75	80	90	89	87	77	72	68	
	246	5	13	30	31	45	29	11	4	11	21	37	9		
望ましくない	14	4	10	14	16	22	17	8	4	9	19	27	8		
	1,029	63	97	132	108	107	94	67	63	78	71	83	66		
26. ロータリーは社会から認知されているか	十分認知されている	59	56	73	61	54	51	56	52	64	61	64	60	59	
	626	34	27	78	80	92	67	60	27	42	32	47	40		
	36	30	20	36	40	44	40	46	28	33	29	34	36		
自身の日頃の生き方について	27. 自身の生き方について	社会的のために全てを捧げる	358	18	31	44	46	45	28	21	20	19	32	25	29
		20	16	23	20	23	22	17	16	20	15	29	18	26	
		どこまでも清く正しく生きる	186	15	16	35	16	15	22	11	9	17	7	13	10
		11	13	12	16	8	7	13	8	9	13	6	9	9	
		真面目に努力して名をあげる	268	9	22	39	18	37	29	22	12	21	16	29	14
		15	8	17	18	9	18	17	17	12	17	14	21	13	
		一生懸命働いて金持ちになる	45	4	4	4	4	10	3	2	2	3	3	5	1
	3	4	3	2	2	5	2	2	2	2	3	4	1		
	自分の趣味にあった暮らし方をする	612	40	41	83	64	72	45	59	39	42	42	43	42	
		35	35	31	38	32	34	27	45	40	33	38	31	38	
	くよくよせずのんきに暮らす	258	18	24	21	32	26	38	20	13	22	8	26	10	
		15	16	18	10	16	12	23	15	13	17	7	19	9	
	28. (甲)面倒を見てあげることが多く、他人から頼られる	甲	480	19	29	58	61	65	51	35	18	41	33	38	32
27		17	22	27	31	31	30	27	18	32	30	27	29		
やや甲		744	45	55	103	92	102	73	61	39	19	49	58	48	
42		40	41	47	46	49	43	47	40	15	44	42	43		
330		25	32	35	27	25	34	23	27	26	21	30	25		
(乙)リーダーになって苦労するより、気楽に従う	やや乙	19	22	24	16	14	12	20	18	28	20	19	22	22	
	68	4	9	9	7	5	5	8	2	8	2	6	3		
乙	4	4	7	4	4	2	3	6	2	6	2	4	3		
	315	21	28	34	33	36	37	17	21	28	22	26	12		
29. (甲)古いものはできるだけ残そうとする方	甲	18	19	21	16	17	17	22	13	21	22	20	19	11	
	やや甲	554	31	40	69	63	67	55	42	30	41	37	44	35	
	32	27	30	32	32	32	33	32	31	32	33	32	31		
	615	34	45	74	71	75	50	54	37	42	38	51	44		
	やや乙	35	30	34	34	36	36	30	42	38	33	34	37	39	
(乙)新しいものをとり入れて改革していく方	乙	181	6	14	26	28	21	21	16	4	12	10	13	10	
	10	5	11	12	14	10	13	12	4	9	9	9	9		
30. 今後のアンケートの実施について	定期的に実施するのが望ましい	1,209	74	94	154	124	143	122	83	67	80	77	104	87	
	69	65	71	71	62	68	73	64	68	63	69	75	78		
	380	16	26	40	59	44	37	42	25	21	26	26	18		
余り必要なし	22	14	20	18	30	21	22	32	26	17	23	19	16		

## クラブ活動 紹介

### ハワイアンバンド 老人ホームを慰問



中川洲平 (函館北RC)

函館北RCには音楽同好会のハワイアンバンド (ノース・アイランダーズ) があります。このバンドの結成は10年前、創立30周年のアトラクションを手作りで何か出来ないかと言う発想から音楽を職業とする会員の指導の基に結成したものです。その腕前の程は2年前の地区大会の懇親会で皆様にご披露したことはまだ記憶に新しい処だと思います。

当バンドは社会奉仕活動の一環として年2回、渡島、檜山管内の老人ホームを訪問して演奏活動慰問をしています。



今年度第1回目は12月8日に函館市内の老人ホームこうじゅ (鴻寿) 園を訪問しました。時節柄、会員が扮するサンタが登場、ミカンのプレゼント、放送機材の寄贈を行い、さらに従業員のフラダンス競演など楽しいひと時を過ごして頂きました。次回の予定は未だ決定していませんが多数の出演要請がありメンバー一同は嬉しい悲鳴を上げています。



### 5人ではできない野球の試合。 でもやりたい… ユニホームを贈呈



久住八郎 (栗山RC)

栗山シニアーズのチームは栗山町継立中学校5名と栗山中学校の助っ人5名の混成チーム。継立中学校は全校生徒数60名ほどでメンバーが集まりません。野球部

は10年前くらいに廃部、少年団で野球を経験しても好きな野球ができない、あきらめかけていた子供達を見かねた父母らが、町野球連盟理事長友成克司さんに相談し、町教委や栗山中学校の協力で、平成14年5月に出来たチームです。平成14年8月10日、11日に行われた第3回栗山ロータリークラブ旗争奪中学校野球大会において「栗山シニアーズ」10対0のスコア負け。でも彼らは町内の40歳代でつくるチームから借りてきた赤い縦じまのユニホーム、背中には他人の名前、サイズもぶかぶかの姿で選手になった子供達は一生懸命にやりました。3塁側のスタンドでは、親たちが「勝つ約束しただろう、あきらめるな!」、「元気がいよう、何やってんのさ」、声をはりあげての声援。中村淑町教育長も心配で駆けつけてくれた。試合後、監督を務めた、町野球連盟理事長友成克司さん子供達はよくやってくれた。

「久しぶりの試合、うれしかった」と八田君、中学最初で最後の公式試合となった3年生千葉くん、彼らの姿が栗山ロータリークラブのメンバーの心を動かしたのでしょ。

なんとかして、ユニホームを贈りたい、との声が多くなり、予算的には無理なので、会員からの特別寄付をお願いいたしました。結果、一月のお年玉プレゼントに出来ました。



平成15年1月14日の例会に八田佳紀君、遠藤藤輔君、鶴川勇樹君、小倉大樹君、福士雄大君ら5名と父母代表渡部晃一氏を招き、新世代委員長土谷将人の司会進行で贈呈式がおこなわれました。5名の中学生が例会の席に着くと、若いエネルギーが発散されたのか、例会の雰囲気が変わっているように感じました。第2例会は粗食デーですが、今日は特別にと利国奈美子会員の手作りのぶた汁が用意され、皆さんでおいしく楽しくいただきました。一月はロータリー理解推進月間、子供達に少しでもロータリーを理解していただいたのではないかと思います。また小林ガバナーの言われ



る、ビジョンよりアクション、を感じさせていただきました。



### 札幌インナーホイル クラブについて



名塩 都 (名塩良一郎 (札幌東RC) 会員夫人)

恐らく大多数の皆様には、はて「インナーホイルクラブ」とは、何ぞやとお思いになられるでしょう。かく言う私達会員にしてもクラブを設立する迄一度なりとも聞いた事がありませんでした。

それが今から4年前当時札幌東ロータリークラブの青木会長が外国でこのインナーホイルクラブの存在を知り私達に紹介下さいました。さすればと規約書を取り寄せ翻訳し、これならと確信し約10カ月の準備期間を経て本部から設立の認証を受けました。インナーホイルクラブは、国際的な組織であり、本部はイギリスにあり現在世界中におよそ百のクラブが存在しております。クラブの基本的精神はロータリークラブに類似し、「真の友情を推進する」「個人の奉仕の理想を奨励する」「国際理解を育成する」と言う3つの綱領があります。会員の資格はロータリアンもしくは元ロータリアンの妻 (現在その資格範囲はもっと拡がっております) で月1回の例会を開催する事、そしてチャリティー基金を作る事業を行なう事になっております。

最初はロータリークラブの大きな支えを頂き運営も手探り状態で発足致しましたが、現在どうにか一人歩きができるようになりました。1年に3回例会報も発行



札幌インナーホイルクラブの認証式。  
後列右から3人目がインターナショナルIWCリチャードソン会長(中央)

しておりクラブの成長の足跡を残す資料ともなっております。チャリティー基金作りはロータリークラブのクリスマス家族会の会場を利用させて頂き、バザーを開催致しております。販売品の中に、会員



ロータリークラブのクリスマス家族会でのバザー風景

の主婦である能力を発揮した手作りの数々、例えば刺子の布巾、ビーズで編んだアームバンド、押花のハガキ、数種類のケーキ等を提供し好評を頂いております。そこで得た収益がチャリティー基金となり毎年世界、そして地域の幸少ない人々の為に役立てさせて頂いております。

月例会ですが、いろいろな分野で活躍しているゲストスピーカーを招き講演会を開いたり、或いはアートクラフト・料理等の講習会、時には親睦の為に音楽鑑賞、バスでの小旅行・施設見学等楽しい実りあるものにしております。又諸外国のクラブとの文通も盛んで殊にクリスマスカードや会報等も沢山送られて参り月例会でこれ等を紹介し国際理解を深めております。

このクラブの会員になって本当に良かったと思う事は、社会を広く見る視点ができボランティア精神が大きく育った事、そして会員同志の友情も深まり月

例会の出席が楽しみになりました。

札幌インナーホイルクラブの誕生は他ならぬ札幌東ロータリークラブと言う母体があったらこそ深く感謝致しております。日本国内にはまだ私達のクラブが唯一で会員一同他のクラブの誕生を待ち望んでおります。どうぞこれをお読み下さったロータリアンの方々がご自分のクラブにインナーホイルクラブの設立にご尽力下さればと心から願っております。(インナーホイルクラブの規約書、資料等はいつでも提供申し上げます。)



親睦のための茶会

## プロバスクラブとは

ロータリークラブが、社会奉仕活動の一環として提唱するもので、国際ロータリーの公式プログラムではありませんが、推奨をしている組織に「プロバスクラブ」があります。

「プロバスクラブ」は、リタイア、又はセミ・リタイアした自立的な男女が組織する全世界に広がるクラブです。ロータリーからは独立した自主・自律のクラブです。「プロバスPROBUS」の語源は、PROfessional(専門職業家)とBUSiness person(実業家)を短縮した言葉です。しかし、会員は、この二つの言葉に限定されずに、行政や他の団体組織の元役員・管理者や、尽力した分野で責任ある仕事をされた

方も含むものです。

プロバスクラブの目的は、リタイアした活動する能力のある人々が少なくとも月1回以上会合し、ゲスト・スピーカーや会員の卓話を聞き、同様な環境や興味を持つ会員との交流と親交により、喜びや価値ある活動の機会を提供し、意義ある生活を推進することにあります。

現在、世界では約4,000クラブ、30万人以上の会員と推定されています。会員のうち、元ロータリアンは約10%以上と推定されます。

Probusには、ラテン語で、忠誠・誠実・信頼の意味があります。会員をお互いにProbian(プロビアン)と呼びあっています。

## 地区別プロバスクラブ(プロバスクラブ協議会) (2002年9月)

県名	地区	クラブ数	会員数	県名	地区	クラブ数	会員数
北海道	2510	1	19	兵庫	2680	18	461
群馬	2840	5	159	岡山	2690	1	6+
新潟	2560	4	96	鳥取	2690	1	17
東京	2750	2	98	広島	2710	1	13
神奈川	2780	1	37	山口	2710	1	18
神奈川	2590	2	67	福岡	2700	5	129
三重	2630	2	56	長崎	2700	1	19
京都	2650	1	57	熊本	2720	1	29
大阪	2660	1	46	宮崎	2730	12	204
大阪	2640	1	31	鹿児島	2730	17	292+
和歌山	2640	1	30	合計		79	1884+

この地区では、札幌東RCの社会奉仕活動の新たな展開として、1992(平成4)年、全国11番目のプロバスクラブで、会員20名をもって設立された。現会長は、仲村参郎氏である。

## お詫びと訂正

『ガバナー月信』1月号に掲載しました、地区大会フォーラム「ロータリーと教育改革」の吉本勲第1グループガバナー補佐よりの発言要旨(16ページ2列目下段11行目より3列目上段16行目まで)に、誤りがありましたので謹んでお詫び申し上げます、下記のように訂正をお願い致します。

### 次世代に毅然とした日本を

吉本 深川クラブの吉本でございます。前川ガバナーが提唱された教育問題はその通りだと思います。ただ、ひとつだけ付け加えたいことがございます。我々のロータリークラブは国際ロータリーの一員であると同時に日本のロータリークラブであるわけです。「御国に捧げよ我らの生業」というロータリーソングはあまりにも古めかしくて、さすがに私もついて行けません、日本は国際社会において侵すことなく、また侵

されることなく独立国として毅然として立たなくてはなりません。そのためにはどんな日本国でなければならないのか、どんな日本国を作らなければならないのかということに関心を寄せられてしかるべきだと思います。日本国のありようを考えると、臆病であってはいけません。次の世代にもこのことが教えられ、伝えられなければいけません。先に掲げられました5つの教育目標に加えまして6つ目にこのことを掲げたいのですがいかがでしょうか。

# 会員の声

## ガバナー公式訪問 スピーチに乾杯！

奥貫一之(札幌東RC)



今年度小林ガバナーの最後の公式訪問は10月31日(木)札幌東ロータリークラブと新札幌ロータリークラブの合同例会の時に行われました。数々のハードルを乗り越え、上半期最後のイベントという事で肩に力が入った豪速球が飛んでくるのかなと思っていました所、地区大会冊子に詳しく紹介されている「健康・お金・愛」のソフトなお話でした。

RIラタクル会長の「慈愛の種を播きましょう」というフレーズに帰結させる、そして聴衆をうっとりさせる魅力的なスピーチでしたが、私がかくい入る様な気持ちで聞き入ったのは、ガバナーのお話の巧さもさる事ながら全く異なる切口からでした。それは同じ発想をスペイン人が日夜乾杯に託して口にしてしているからです。

私はスペイン大好き人間でバルセロナ大会参加時でスペイン訪問は実に12度目を数えております。そして北海道スペイン協会の副会長を拝命しておりますが、副会長の役目は宴会の乾杯役を勤める事が多いようで、その時私のスペイン語の先生から教わったスペインでの乾杯をいたします。乾杯の仕方が三通りあるのも珍しいのですが、人生にとって大切な事を乾杯に託しているのです。一番多いのは「サルー(健康のために)」です。二番目は「デ・ネロ」で健康も大切だけど人生お金がなくっちゃねえという本音が出ています。しかし本当の乾杯は「アモール(愛のために)」とされています。恋人同志や親しい人同志は、人生、健康も、お金も大切だけど一番大切なのは愛だとスペイン人は信じています。恋人同志は杯を重ねる度に「シエンプレ・アモール(心から愛しているよ)」とささやき合おうと言います。

私はある年マドリッドで美貌のフラメンコ・ダンサーに魅了され彼女に直接、

話をしたい思いにかられスペイン語を習いはじめました。動機が不純ね!と言いながら思いをとげたツーショットのシャッターを快よく押してくれた家内に感謝した事を思い出しながらガバナー公式訪問のスピーチを感激しながら聞かせていただいたレポートをさせていただきます。



## すばらしい 若者たち

戸部アナマリア  
(札幌はまなすRC)

私は昨年11月23日に釧路市で開催されたRI2500と2510地区合同の第1回北海道ロータリーアクト交流会に出席する機会を持ちました。参加申込みに当り、地区RA委員長の中塚力さんから何故参加する気になったかを聞かれましたが、私は現代のロータリーアクトの若者がどの様な考えか、えがいている夢や将来への希望を持っているかを直接聞き、知りたいからと答えました。

当日の釧路はとても寒い日でしたが、会場は熱気と活力に溢れており寒さを感じる間もありませんでした。会の運営、プログラムは全て彼等が作り、司会者は歯切れ良く、早いテンポで無駄なく会が進行したのには感心しました。

プログラムのそれぞれのお話を聞いているうちに、私は大きな感動を受けて



いる自分を発見しました。そして私達ロータリアンのローターアクトや現代の若者に対する役割は何人であるかを考えさせられて来ました。



二日間にわたり参加したローターアクト達と話し合う機会がありました。お陰で金髪や茶髪、そして現在のファッションを着こなしている若者達はとてもしっかりした自分を持っているという事がひしひしと伝わって来るのが感じられました。

RIは毎年の様に会員増強を大きな目標にかかっています。そして当地区でも次々と新クラブが生まれていますが、この様に素晴らしいローターアクトの人達が将来もロータリーの精神を忘れることなく活躍出来る場所を作りあげておく事が出来れば良いと思いました。



我々ロータリアンもこの様な社会状況の中で、あらためてロータリーの創立時の原点に立ち帰り、人や金だけが目標ではなく、四つのテストを想い出し、奉仕とは何かをもう一度考える必要があるのではないかと思います。ロータリアンには性別や年齢による差別はありません。明るく、楽しく、そして全員が平等であるというスピリットのもとで初めて本来のロータリー活動が出来るのではないかと思います。この交流会に参加してローターアクトの会員の方々から教えられたと思っております。

# 「ロータリアン宣言」試案

米山道男（札幌北RC）



最終講義を終えて（2002年3月8日）

昨秋の地区大会の記念フォーラムのタイトルは、「慈愛の種からどのような花を咲かせるか—新世紀におけるロータリー運動の目標と戦略—」でしたが、これは、ロータリーの大きな目標であった「ポリオ撲滅」もその達成が目前に迫り、ロータリーの第2の世紀が新しく始まろうとしている今こそ、過去100年のロータリーの歴史を振り返り、現状を分析した上で、来る100年のロータリー運動は何を目標に進んでいったら

よいのか、また、その目標を達成するためにはどのような戦略を描いたらよいのかを真剣に考える時期である、との思いから企画されたものです。

この企画を契機に、ロータリアンが考えていること、目指していることを簡潔に表現してみたいと思い、下記のような宣言文を考えてみました。これは、小林ガバナーとの対話の中から生まれたものです。内容・表現・取扱いなどについての御意見を、ガバナーま

たは小生あてにいただければ幸いです。

私達は、このような宣言によって私達の考えを広くアピールする必要があると思いますが、それに留まることなく、具体的な行動計画を立て、それを着実に実行していかなければならないと思います。

## ロータリアン宣言(案)

1. 我ら、平和を愛するロータリアンは、戦争を含むあらゆる暴力行為に反対し、問題は話し合いによって解決しなければならないと考えます。
2. 我ら、自然を畏敬するロータリアンは、地上のあらゆる存在と共存していくため、率先して資源とエネルギーの浪費を抑制しなければならないと考えます。
3. 我ら、慈愛を目指すロータリアンは、不遇あるいは不当な境遇にあるあらゆる人々への共感と支援を惜しんではならないと考えます。
4. 我ら、未来に希望を抱くロータリアンは、次代を担う子ども達を尊重して、共に考え共に歩み、子ども達の自立を支援することを誓います。

## ROTARIAN DECLARATION (draft)

1. We, Rotarians, who love peace, think that all violent acts including wars should not be allowed and that problems should be resolved by negotiations.
2. We, Rotarians, who respect nature, think that we should live in harmony with all beings on the earth and that we should take the initiative to reduce the wasteful use of natural resources and energy.
3. We, Rotarians, who try to sow the seed of love, think that we should have sympathy with and offer support to all the people who suffer from serious situations.
4. We, Rotarians, who hope for a better future, respect children, share problems with them and support them to stand on their own feet.

人類は、賢い面もあるが、多くの過ちも犯してきました。特に重大な過ちを3つ挙げるとすれば、「戦争をしたこと」「環境を破壊したこと」「弱者を抑圧したこと」でしょう。残念でないことに、これらの過ちは今なお続いています。このような問題を一歩ずつ解決し、すこしでも住みやすい社会にしていきたいというのが、私達ロータリアンの切なる願いだと思います。

**宣言1について** ロータリーが実施している様々な国際的な交流と支援の事業は、相互理解の促進と発展途上国の水準向上に大きく貢献しています。このような事業は、戦争を回避し平和に近付くために極めて有効であると思われまので、今後も一層推進していくべきものと思います。しかし現在、事態は切迫しています。日本の最大の誇りは、経済や技術ではなく、「過去半世紀、いわゆる大国の中で、戦争を(表立って)しなかった唯一の国である」ということです。平和主義こそが日本外交の立脚点であるべきだと思います。

日本は、東洋の偉人ガンジーの非暴力主義に倣い、戦争と暴力に反対し、話し合いによる解決でイニシアティブをとるべきだと思います。

**宣言2について** 人類は、地球46億年の歴史の中で最も遅れてきた存在、さらに言えば、地球に害を及ぼす癌のような存在ですらあると思います。従ってもっと謙虚に生きなければならないと思います。その点から考えてみても、いわゆる先進国による資源とエネルギーの浪費は目に余るものがあります。ロータリアンも贅沢な生活をしている人が少なくありません。私達自身も含めて、先進国における資源とエネルギーの浪費抑制が今後のロータリーの大きな目標の一つにならないといけないと思います。

**宣言3について** 子ども、ある場合には女性、さらには高齢者、病者・障害者、労働者、庶民、先住民・外国人のようなマイノリティー、難民、受刑者など、世の中には、恵まれない人達、不当な扱いを受けている人達が多

くいます。ロータリーは、過去100年、ポリオワクチンの普及、識字率の向上、子ども達への支援など、様々な実績を積み重ねてきました。今後も一層、すべての弱い人達への共感と支援を惜しんではならないと思います。

**宣言4について** 宣言3で挙げた人達の中でも、人類の未来を託す「子ども」は特別です。子どもは多くの可能性を秘めた素晴らしい存在です。しかし、子ども達は自分を確率しようと悩んでいて、それを様々な形で発信しています。私達は発信されたものを子ども達の立場に立って受けとめなければならないと思います。一方、子ども達は澄んだ眼で世の中をしっかりと見ています。子どもは、単なる保護の対象ではなく、一緒に考え行動する強力なパートナーです。そして私達がいなくなった後も、子ども達には、そのまた子ども達のためにも、遅しく、正しく、生きていってほしいと思います。そんな願いを込めて、今、私達にできることをしたいと思います。

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー					
今井國雄会員	(札幌南RC)	(1) 11月 8日	伊藤長英会員	(苫小牧北RC)	(7) 11月29日
佐々木実会員	(深川RC)	(2) 11月15日	伊藤竹雄会員	(静内RC)	(2) 11月29日
篠原達雄会員	(札幌モーニングRC)	(2) 11月15日	ボール・ハリス・フェロー		
村中俊二会員	(深川RC)	(1) 11月22日	松本純枝会員	(深川RC)	11月27日
近藤重明会員	(苫小牧RC)	(2) 11月29日	荻野秀明会員	(美唄RC)	11月29日
			三川秀樹会員	(美唄RC)	11月29日

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者								
當摩浩平会員	(函館五稜郭RC)	7月 8日	大針道生会員	(浦河RC)	10月31日	嶋崎 映会員	(静内RC)	11月13日 (1回)
山科幸一会員	(えりもRC)	7月 9日 (1回)	砂原 肇会員	(浦河RC)	10月31日	高橋正亘会員	(静内RC)	11月13日 (1回)
伊部正弘会員	(函館五稜郭RC)	7月12日	福山恵太郎会員	(札幌南RC)	11月 1日	安原 實会員	(浦河RC)	11月13日
清藤堯士会員	(函館五稜郭RC)	7月12日	畑中俊介会員	(札幌南RC)	11月 1日 (1回)	福嶋 貢会員	(函館東RC)	11月19日
松本脩三会員	(札幌RC)	7月18日	今井國雄会員	(札幌南RC)	11月 1日	古田清一会員	(函館東RC)	11月19日
小樽南RC様		7月26日	金川一男会員	(札幌南RC)	11月 1日	長谷川幸央会員	(深川RC)	11月20日
丸福塗料株様	(札幌手稲RC)	7月30日	小林昌志会員	(札幌南RC)	11月 1日	板倉克宏会員	(深川RC)	11月20日
原口伸一会員	(新札幌RC)	7月31日	後藤由春会員	(札幌南RC)	11月 1日	北村幸雄会員	(深川RC)	11月20日
保木茂実会員	(新札幌RC)	7月31日	クリステンセンターキル会員	(札幌南RC)	11月 1日 (1回)	児島俊一会員	(深川RC)	11月20日
井原敏男会員	(新札幌RC)	7月31日	中井孝光会員	(札幌南RC)	11月 1日	松本純枝会員	(深川RC)	11月20日
池田 真会員	(新札幌RC)	7月31日	杉日幹雄会員	(札幌南RC)	11月 1日	松本佳巳会員	(深川RC)	11月20日
千秋 亨会員	(新札幌RC)	7月31日	平 昌夫会員	(札幌南RC)	11月 1日	村中俊二会員	(深川RC)	11月20日
白石正勝会員	(札幌東RC)	8月 9日 (5回)	武田利兵衛会員	(札幌南RC)	11月 1日	永井久之会員	(深川RC)	11月20日
福嶋 貢会員	(函館東RC)	8月27日	富樫英樹会員	(札幌南RC)	11月 1日	中澤 清会員	(深川RC)	11月20日
石田茂夫会員	(新札幌RC)	8月30日	中西泰司会員	(新札幌RC)	11月 5日	成田雅敏会員	(深川RC)	11月20日
紺野克彦会員	(新札幌RC)	8月30日	三上直彦会員	(札幌西北RC)	11月 7日 (2回)	小田幸晴会員	(深川RC)	11月20日
東海林義男会員	(新札幌RC)	8月30日	谷口二郎会員	(札幌西北RC)	11月 7日 (1回)	杉村 修会員	(深川RC)	11月20日
藤田安男会員	(赤平RC)	9月13日 (1回)	金坂和正会員	(札幌真駒内RC)	11月 7日 (1回)	寺岡義人会員	(札幌南RC)	11月20日
三箇一弘会員	(小樽RC)	9月19日	深見 浩会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	寺内輝夫会員	(深川RC)	11月20日
北大寺様	(札幌モーニングRC)	9月25日	藤本治康会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	山田圭二会員	(深川RC)	11月20日
山崎満晴会員	(伊達RC)	9月25日 (1回)	羽芝涼一会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	若狭幸藏会員	(洞爺湖RC)	11月25日 (2回)
天谷富雄会員	(室蘭東RC)	9月26日	原 明会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	宮崎あけみ会員	(函館東RC)	11月26日
川角 晃会員	(室蘭東RC)	9月26日	羽生有三会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	海老名元会員	(美唄RC)	11月29日
児玉直彦会員	(室蘭東RC)	9月26日	富士原勝三会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	池田康治会員	(美唄RC)	11月29日
前田康博会員	(室蘭東RC)	9月26日 (1回)	入口博美会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	荒木敏博会員	(岩見沢RC)	11月29日
鈴木久雄会員	(室蘭東RC)	9月26日 (1回)	井上英幸会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	五十嵐閣会員	(岩見沢RC)	11月29日
富田孝夫会員	(室蘭東RC)	9月26日	茅野政士会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	石田豊明会員	(岩見沢RC)	11月29日
矢萩富士雄会員	(室蘭東RC)	9月26日	汲田信夫会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	亀井信彰会員	(岩見沢RC)	11月29日
前川雅彦会員	(函館東RC)	10月 3日	松坂敏之会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	北市宗三会員	(岩見沢RC)	11月29日
大橋由政会員	(岩内RC)	10月 3日	村山順助会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	北澤治雄会員	(岩見沢RC)	11月29日
北嶋静雄会員	(新札幌RC)	10月 8日	長手英記会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	木元久嗣会員	(岩見沢RC)	11月29日
小林 博会員	(札幌北RC)	10月15日 (2回)	西野文雄会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	小林弘明会員	(岩見沢RC)	11月29日
小樽RC様		10月15日	沼田常好会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	三嶋 顕会員	(岩見沢RC)	11月29日
森谷明弘会員	(札幌真駒内RC)	10月17日 (1回)	大野 馮会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	森居 清会員	(岩見沢RC)	11月29日
大野義雄会員	(札幌西北RC)	10月17日 (1回)	大井綱雄会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	武蔵輝彦会員	(岩見沢RC)	11月29日
青木 司会員	(岩見沢RC)	10月18日	大屋建一会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	西村芳徳会員	(岩見沢RC)	11月29日
江島俊昭会員	(岩見沢RC)	10月18日	大塚知明会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	納谷輝雄会員	(岩見沢RC)	11月29日
長谷川暢一会員	(岩見沢RC)	10月18日	坂井 治会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	越智康博会員	(岩見沢RC)	11月29日
菊谷 悟会員	(岩見沢RC)	10月18日	佐藤文雄会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	佐藤紀征会員	(岩見沢RC)	11月29日
五本日出夫会員	(岩見沢RC)	10月18日	斎藤博司会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	佐々木啓司会員	(岩見沢RC)	11月29日
倉増秀昭会員	(岩見沢RC)	10月18日	佐々木俊英会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	千田一彦会員	(岩見沢RC)	11月29日
向田甚市会員	(岩見沢RC)	10月18日	坂口達也会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	谷 勲会員	(岩見沢RC)	11月29日
岡本 等会員	(岩見沢RC)	10月18日	白木松敏会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	山本公彦会員	(岩見沢RC)	11月29日
児玉和雄会員	(苫小牧東RC)	10月25日 (1回)	須藤 丈会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	山本辰男会員	(岩見沢RC)	11月29日
安田真也会員	(深川RC)	10月23日 (1回)	鈴木昭広会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	山根良隆会員	(岩見沢RC)	11月29日
伊藤栄一会員	(札幌東RC)	10月28日	多賀 勲会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	朝倉正人会員	(札幌東RC)	11月29日
谷口 博会員	(札幌東RC)	10月28日	田口 廣会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	星野恭亮会員	(札幌東RC)	11月29日 (1回)
吉山八郎会員	(札幌東RC)	10月28日	竹原 孝会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	米山ファンフェロー		
荒川 敏会員	(深川RC)	10月30日	高塚信和会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	佐野文男会員	(新札幌RC)	7月31日
伊藤 崇会員	(深川RC)	10月30日	千葉順吾会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	横路朋己会員	(新札幌RC)	7月31日
宮岸徹二会員	(深川RC)	10月30日	土居栄治会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	松井久男会員	(函館東RC)	9月 3日
棚橋直登会員	(深川RC)	10月30日	和田次彦会員	(千歳セントラルRC)	11月11日	石田 実会員	(室蘭東RC)	9月26日
渡辺一義会員	(深川RC)	10月30日	荒谷壽八会員	(深川RC)	11月13日	川端武男会員	(三石RC)	10月 8日
山腋一範会員	(深川RC)	10月30日	後藤田隆雄会員	(深川RC)	11月13日	伊藤竹雄会員	(苫小牧北RC)	10月31日
伊藤長英会員	(苫小牧北RC)	10月31日 (4回)	成田昭彦会員	(深川RC)	11月13日	円子 保会員	(美唄RC)	11月29日
福士幹也会員	(浦河RC)	10月31日	中谷一郎会員	(深川RC)	11月13日	下村寿太郎会員	(深川RC)	11月13日
小林忠雄会員	(浦河RC)	10月31日	大西道祥会員	(深川RC)	11月13日	橋本耕二会員	(札幌南RC)	11月 1日
三枝 實会員	(浦河RC)	10月31日	渋谷賢治会員	(深川RC)	11月13日			
			杉澤健司会員	(深川RC)	11月13日			



## 残念ながらCAPの申請ゼロ

CAPとはCommunity Assistance Program（地域社会援助プログラム）の略で、その申請は昨年12月末で終了しました。全国35地区から126件の申請がありましたが、残念ながら我が2510地区からの申請はゼロでした。

次年度はCAPへの積極的な申請をお待ち致します。お隣りの2500地区からも数件の申請が出ています。どんな申請が採択されるかといいますと、そのいくつかを紹介致します。いずれも1,000ドルから3,000ドルまで出ております。

地区	クラブ名	プロジェクト	補助金(米貨)	地区	クラブ名	プロジェクト	補助金(米貨)
2540	大曲	介護用エアー・マット	2,000.00	2760	知立	高齢者と児童の交流の場へ備品の提供	1,340.00
2540	秋田南	食卓と椅子を障害者施設に提供	1,000.00	2690	倉敷	麻疹予防接種推進の広告	2,000.00
2540	ニツ井	採卵箱の設置	1,000.00	2690	児島	防犯カメラ設置	4,500.00
2540	大曲仙北	福祉作業所にロッカーを贈呈	1,000.00	2630	上野	高齢者に寄席を提供	1,000.00
2540	花輪	植林	1,200.00	2690	倉敷東	難聴幼児通園施設にエレクトーンとテント	1,000.00
2580	東京東大和	救急ハウス	1,000.00	2690	倉敷南	紙芝居	1,000.00
2580	東京後楽	親子ふれあいコンサート	2,000.00	2520	岩谷堂	図書館の寄贈	1,000.00
2540	横手東	文化琴とカヤックを孤児院に贈呈	1,294.00	2520	盛岡中央	ジュニア・サッカー・クラブへ試用テントの寄贈	1,000.00
2540	本荘南	ボーリング・セット、ドラム、タンバリンを障害者施設に贈呈	1,000.00	2520	宮古西	不登校を考える父母の会に備品を提供	1,000.00
2570	秩父	警察署内広告塔の塗り替え	2,135.00	2730	宮崎西	知的障害者施設にカラオケの贈呈	1,000.00
2540	秋田北	障害者の共同作業所に調理器具を贈呈	1,000.00	2630	志摩	学校荒廃から再生までの映画上映	1,000.00
2820	ひたちなか	外国人妻のための漢字教科書作成	1,500.00	2660	大阪梅田東	PCの贈呈	1,000.00
2820	古河東	植樹	1,000.00	2530	福島南	空き缶、ペットボトル回収機	
2820	常陸太田	植林	3,000.00	2530	郡山南	標識の設置	
2820	日立	障害者施設に器具の贈呈	2,336.00	2530	会津若松西	介助講習会	
2770	栗橋	公園のゲートと遊具のペンキ塗り替えと非常食づくり	1,583.33	2740	多久	車椅子贈呈	1,000.00
2770	桶川イブニング	熱気球体験	1,500.00	2690	米子東	作文コンテスト	1,500.00
2710	小野田	麻薬撲滅の立て看板	1,000.00	2500	帯広東	児童養護施設に自転車の寄贈	1,400.00
2660	大阪中央	和太鼓を情緒障害児治療施設に贈呈	1,858.30	2500	旭川西	旭山公園に桜を植える	1,400.00
2710	山口南	介護を求める方の送迎バスにステッカー	1,000.00	2500	雄武	老人ホームの境界に桜を植える	1,500.00
2750	東京立川	小学生写真展	2,000.00	2710	尾道	千光寺公園に桜を植える	1,000.00
2790	成田コスモポリタン	介護用品の使い方を説明するためのビデオの贈呈	1,048.00	2710	広島中央	福祉法人設立準備のための喫茶コーナーに備品提供	1,000.00
2730	鹿児島西南	少年野球	1,500.00	2710	福山	植樹	1,000.00
2650	京都洛西	コンサートの主催	1,000.00	2500	釧路	アイスホッケー選手養成トレーニング会	1,443.00
2650	長浜東	ジュニア・オリジナル・コンサートの主催	1,000.00	2630	四日市東	知的障害者に海の素晴らしさを体験してもらう	1,000.00
2570	坂戸さつき	バス停にベンチの提供	2,500.00	2630	鈴鹿シティー	自然の再生	1,000.00
2650	福井南	一乗城山に案内板の設置	1,000.00	2810	仙台青葉	四ツ谷用水カルタ配布プロジェクト	1,000.00
2650	滋賀湖北	クッションチェアへの贈呈	1,000.00	2710	広島空港	絵本の贈呈	1,000.00
2650	桜井	望遠鏡の設置	1,000.00	2570	吹上	サマーキャンプ	2,000.00
2650	宇治	中国残留孤児に日本語の教材を提供	1,000.00	2720	熊本水前寺	時計台の贈呈	9,800.00
2650	彦根	四つのテストのパネル作成	1,000.00	2520	軽米	車椅子と長いソファへの贈呈	1,000.00
2650	野洲	時計台の贈呈	1,000.00	2770	浦和東	河津桜の植樹	3,500.00
2650	京都朱雀	知的障害者による野外活動の絵画	1,000.00	2680	宝塚	プロジェクトとトランポリンの贈呈	2,521.00
2730	鹿児島サザンランド	紫外線防止用ハットの贈呈	2,000.00	2680	上郡	パソコンとプリンターの贈呈	1,858.00
2570	羽生	サッカー	1,000.00	2630	松阪山桜	環境保全カレンダーの作成	1,000.00
2750	東京広尾	児童虐待防止キャンペーン・ビデオ	8,000.00	2590	川崎大師	公園遊具の贈呈	10,000.00
2760	尾張旭	音楽会の開催	2,300.00	2740	長崎北東	聴覚障害生徒に楽器の贈呈	1,100.00
2760	豊川	植樹	1,500.00	2740	伊万里	防犯カメラ設置	1,000.00
2760	春日井、名古屋空港、豊山-城北	新世代に思いやりの心をセミナー	4,859.00	2740	ハウステンボス佐世保	車椅子の贈呈	3,816.67
2730	日南中央	四つのテストの看板設置	1,260.00	2710	岩国中央	日本語教室	1,000.00
2550	馬頭小川	楷の木の植樹	1,000.00	2680	香住	植樹	2,585.00
2650	八日市南	生徒会役員会議	1,000.00	2680	芦屋川	さおり織機とミシン	3,036.00
2730	鹿児島城西	新世代剣道大会	1,325.00	2840	桐生赤城	アイスホッケーの防具の寄贈	5,250.00
2730	出水	ツルの調査のための測定器具を贈呈	1,080.00	2840	館林	楽器の寄贈	2,336.25
2520	山田	作文コンテスト	1,000.00	2570	行田さくら	図書館の寄贈	2,000.00
2710	三次中央	街路樹	1,000.00	2830	弘前西	冷凍冷蔵庫の寄贈	1,000.00
2500	斜里	介護ベッドの寄贈	1,300.00	2830	青森	除雪道具の寄贈	1,000.00
2630	中津川	デジタルカメラの贈呈	1,000.00	2800	鶴岡	知的障害者施設にカラオケセット	1,000.00
2630	羽島	河川美化カレンダー	1,000.00	2800	かみのやまZAO	発電機の寄贈	2,000.00
2520	盛岡北	知的障害者施設にパソコンの贈呈	1,000.00	2740	諫早多良見	養護学校にテントの寄贈	1,000.00
2520	盛岡南	図書館の寄贈	1,000.00	2770	大宮北東	障害者の観緑会	1,000.00
2520	宮古東	ゴミゼロ運動	1,000.00	2710	防府	子育て支援講演会	1,000.00
2550	真岡西	ヒマラヤ桜の植樹	1,000.00	2810	仙台平成	リフティングテーブルの贈呈	6,700.00
2550	矢板	バス停にベンチ	1,000.00	2800	天童	老人ホームに掃除機	1,000.00
2550	鹿沼東	花一杯運動	1,000.00	2800	天童東	知的障害者にグラウンド・ゴルフ	1,178.95
2550	鹿沼中央	外国人を招いての餅つき大会	1,000.00	2800	鶴岡東	青少年の育成	1,974.00
2550	佐野	マットと大型整理台車を社会福祉協議会に贈呈	1,000.00	2830	八戸東	草刈機の寄贈	1,000.00
2550	栃木西	花一杯運動	1,000.00	2830	青森	LD児童の親の会への援助	1,000.00
2550	足利わたらせ	障害者施設にユニフォームを贈呈	1,000.00	2730	鹿児島中央	捨て猫と捨て犬の里親探し	1,080.00
2550	岩舟	ガールスカウト団にテントを贈呈	1,000.00	2740	佐世保中央	盲導犬のドライバー	1,000.00
2550	栃木	ハナミズキの植樹	1,000.00	2580	久米島	児童・生徒表彰	2,000.00
2740	佐賀北	車椅子用体重計	1,083.33	2660	豊中千里	点字子供図書室の普及	3,333.00
2710	防府北	知的障害者施設にテントを贈呈	1,000.00	2580	東京豊島東	自然ふれあい教室	5,000.00

# 12月会員増減数・出席率報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			02.7.1	02.12.31	増減	内女性	
1	深川	4	46	44	-2	2	88.62
	羽幌	3	47	48	1	1	82.64
	妹背牛	4	12	12	0	0	81.25
	小平	4	15	17	2	1	72.06
	留萌	4	69	66	-3	0	87.94
	小計		189	187	-2	4	82.50
2	赤平	4	37	37	0	1	91.22
	芦別	4	60	58	-2	0	94.46
	砂川	3	61	56	-5	0	92.73
	滝川	3	108	112	4	2	80.00
小計		266	263	-3	3	89.60	
3	美唄	4	48	47	-1	0	86.11
	江別	3	50	49	-1	2	91.83
	江別西	3	41	41	0	3	90.24
	岩見沢	3	97	102	5	0	91.75
	岩見沢東	4	33	34	1	3	92.68
	栗沢	4	35	35	0	2	89.00
	栗山	4	34	33	-1	2	91.93
	当別	4	46	46	0	0	91.49
	小計		384	387	3	12	90.63
	札幌	3	120	128	8	0	98.46
4	札幌あけぼの	3	19	18	-1	1	100.00
	札幌はまなす	4	29	29	0	4	85.35
	札幌北	3	58	57	-1	7	92.26
	札幌モーニング	3	61	62	1	0	75.81
	札幌西	4	75	80	5	2	91.20
	札幌西北	4	52	55	3	2	91.73
	札幌手稲	3	52	52	0	0	98.72
	小計		466	481	15	16	91.69
	札幌東	4	123	123	0	0	99.33
	札幌清田	4	26	28	2	5	97.12
5	札幌幌南	3	88	83	-5	0	100.00
	札幌真駒内	4	50	49	-1	2	97.18
	札幌南	3	97	99	2	0	97.32
	新札幌	4	42	40	-2	2	85.12
	札幌大通公園	3	17	18	1	5	82.35
	札幌セントラル	4	0	24	24	7	89.60
	小計		443	464	21	21	93.50
	岩内	3	37	37	0	0	72.97
6	倶知安	4	54	53	-1	4	81.00
	小樽	4	96	95	-1	0	91.35
	小樽南	4	86	87	1	0	88.58
	小樽銭函	3	20	20	0	2	90.00
	蘭越	5	18	18	0	0	62.50
	余市	3	49	49	0	4	89.56
	小計		360	359	-1	10	82.28

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,458人
当月末会員数(女性)	3,486人(101人)
増加会員数	28人
当月平均出席率	85.21%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			02.7.1	02.12.31	増減	内女性	
7	千歳	4	74	74	0	2	88.30
	千歳セントラル	3	33	34	1	0	86.70
	恵庭	4	50	49	-1	0	81.63
	北広島	3	16	16	0	2	91.11
	長沼	2	18	18	0	4	80.50
	由仁	4	18	17	-1	1	80.56
	小計		209	208	-1	9	84.80
8	えりも	4	27	27	0	0	87.04
	三石	3	20	19	-1	1	74.73
	様似	4	24	25	1	2	88.50
	静内	4	68	68	0	0	87.88
	浦河	4	41	36	-5	1	88.64
	小計		180	175	-5	4	85.36
	伊達	3	53	56	3	0	80.33
9	室蘭	3	66	64	-2	0	94.27
	室蘭東	4	56	55	-1	1	94.00
	室蘭北	5	52	51	-1	2	77.25
	登別	3	40	39	-1	2	85.00
	洞爺湖	4	14	14	0	0	89.60
	小計		281	279	-2	5	86.74
	函館	4	101	105	4	0	74.44
10	函館亀田	3	51	53	2	1	78.52
	森	4	51	49	-2	0	72.00
	七飯	4	33	32	-1	0	85.00
	長万部	3	11	11	0	0	69.60
	小計		247	250	3	1	75.91
	江差	4	20	20	0	0	62.50
	函館五稜郭	3	71	71	0	0	89.62
11	函館東	4	67	66	-1	6	82.66
	函館北	4	46	47	1	0	81.04
	上磯	4	34	34	0	3	62.50
	松前	4	8	8	0	1	63.00
	小計		246	246	0	10	73.55
	白老	3	34	34	0	1	81.00
	苫小牧	3	68	69	1	0	83.95
12	苫小牧東	4	33	34	1	3	91.17
	苫小牧北	4	52	50	-2	2	87.78
	小計		187	187	0	6	85.98
	合計		3,458	3,486	28	101	85.21

## 計 報

松本 守 会員  
(俱知安RC)  
平成14年11月3日  
ご逝去(享年77歳)



《ロータリー歴》  
1983年 入会・出席委員  
1985-86 幹事  
1990-91 副会長  
1993-94 会長  
1998-99 職業奉仕委員長  
2002-03 マゴコロ箱委員長  
会報雑誌委員

## 計 報

黒田 泰 会員  
(札幌東RC)  
平成14年12月7日  
ご逝去(享年89歳)



《ロータリー歴》  
1972年7月6日入会  
米山功労者  
1977-78 出席副委員長  
1979-80 SAA  
1981-82 親睦活動副委員長  
1984-85 雑誌委員長  
1988-89 プログラム副委員長  
1992-93 副SAA  
マルチプルボールハリスフェロー

## 計 報

山本智雲 会員  
(札幌西RC)  
平成15年1月4日  
ご逝去(享年80歳)



《ロータリー歴》  
1969年2月18日 入会  
1970-71、78-79 クラブ会報委員長  
1973-74、83-84 職業奉仕委員長  
1975-76 音楽委員長  
1980-81、86-87 社会奉仕委員長  
1990-91 雑誌委員長  
1992-93 副会長  
1995-96、97-98 職業分類委員長  
マルチプルボールハリスフェロー

## 計 報

松田浩一 会員  
(当別RC)  
平成15年1月18日  
ご逝去  
(享年62歳)



《ロータリー歴》  
2000年1月11日 入会

## 掲示板

### ○ 幹事変更

#### 札幌真駒内RC

泉仁史会員が都合により退会のため、南部昭憲副幹事が代行を務めます。

### ○ 例会変更

美唄RC 2月13日(木) 夜間例会18:30~

#### 江別RC

2月6日(木) 創立記念例会19:00 場所:花寿し  
2月13日(木) 12:30 場所:セレモニーホールはやし大森会場

#### 札幌セントラルRC

2月4日(火) 移動例会

2月11日(火) 休会\*

#### 岩見沢RC

2月14日(金) バレンタイン休会\*

2月28日(金) 夜間例会

岩内RC 2月20日(木) 夜間例会12:00~ 場所:あづま鮎

#### 小樽・小樽南・小樽銭函 RC

2月22日(土) ロータリークラブ創立記念小樽3クラブ合同例会

17:15~ 小樽グランドホテル

岩内RC 2月20日(木) 夜間例会18:00 場所:あづま鮎

室蘭東RC 2月12日(水) 休会\*

注) \*定款第5条第1節に基づく休会

### ○ お詫び・訂正

1月号の中で誤りがありましたので訂正致します。ご迷惑をお掛け致しました。各クラブの皆様には、深くお詫び申し上げます。

#### P27 年会金について

浦河RC 140,000円、入会金30,000円

函館RC 190,000円

函館亀田RC 170,000円、入会金50,000円

函館五稜郭RC 180,000円

函館東RC 190,000円

函館北RC 180,000円

#### P28 ロータリー財団への寄付

深川RC 7/1~11/30までの達成率

163.79%

※地区内第2位となっております。

## 2・3月地区カレンダー

2月 世界理解月間			3月		
日	曜日	行事	日	曜日	行事
1	土	} 米山記念奨学生選考試験(札幌パークホテル)	1	土	
2	日		2	日	チーム研修セミナー(千歳全日空ホテル、10:00~)
3	月	国際親善奨学生研修会(当別道新研修センター)	3	月	
4	火		4	火	
5	水		5	水	
6	木		6	木	
7	金		7	金	
8	土		8	土	第7グループIM(ホテル日航千歳、13:00~)
9	日	} 第23回札幌国際スキーマラソン(札幌ドーム、9:00~)	9	日	
10	月		10	月	
11	火		11	火	
12	水	} 家族週間(第2週)	12	水	} 世界ローターアクト週間(3/13を含む週) 札幌西北・西・北、手稲RC合同例会(後楽園ホテル、18:00~)
13	木		13	木	
14	金		14	金	
15	土	第6グループIM(余市町公民館、13:30~)	15	土	} 財団セミナー・米山セミナー(千歳全日空ホテル、13:00~) 会長エレクト研修セミナー(PETS) (千歳全日空ホテル、10:00~ 16日9:30~)
16	日	第8グループIM(様似町公民館、12:30~)	16	日	
17	月		17	月	
18	火		18	火	
19	水		19	水	
20	木		20	木	
21	金		21	金	
22	土	第4・5グループIM(札幌ルネッサンスホテル、13:00~)	22	土	
		米山奨学生歓送会(パークホテル、17:30)	23	日	
		ロータリー創立記念小樽3クラブ合同例会(小樽グランドホテル、17:15~)	24	月	
23	日	ロータリー創立記念日、世界理解と平和の日	25	火	
		第9グループIM(室蘭市市民会館ほか、14:10~)	26	水	
24	月		27	木	
25	火	} 第3グループ会長・幹事会・職場訪問例会(小林酒造㈱、17:00~)	28	金	
26	水		29	土	第10、11グループIM(函館ロイヤルホテル、14:00~)
27	木	} 世界理解と平和週間(2/23~3/1)	30	日	
28	金		31	月	
1	土				

## 事務所だより

- 毎月の会員数および出席率の報告は、最終例会終了後15日以内ですので、期日の厳守をお願い致します。
- 月信への原稿をお寄せ下さい。特にクラブ活動、会員の声へのご投稿をお待ち致します。投稿の際には、スナップ写真も添えてください。
- 2月のロータリーレートは、122円です。

### 国際ロータリー第2510地区 2002-2003年度 ガバナー月信

発行人 2002-2003年度ガバナー 小林 博  
 発行元 国際ロータリー第2510地区 2002-2003年度ガバナー事務所  
 発行日 毎月1日発行 年12回  
 編集委員 ◎竹原 巖 (地区幹事) 委員長 大田すみ子 (地区幹事)  
 熊谷 満 (地区幹事) 脇田 稔 (地区幹事)  
 アドバイザー 米山 道男 (地区幹事) 松木 新 (アイワード)  
 事務局 札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師会館6F  
 TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526 E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp  
 印刷:(株)アイワード TEL241-9341



## ロータリー会員地域紹介

# 余市町



### 余市町の「花」……りんごの花

余市の果樹栽培は、アメリカ産のりんごの苗木から始まり、日本で初めてりんごを実らせた。余市もいまでは果樹栽培の広がりを見せ、フルーツ王国の名にふさわしい実績をあげています。

りんごの品種「緋之衣」が会津藩の入植地である余市町山田で明治12年に最初に実り、札幌博覧会では大好評を得た。



### えびす岩・大黒岩

この岩はえびす・大黒という日本の神様によく似ていることから、その名で呼ばれています。

「えびす」「大黒」は七福神の中で商売繁盛の神様と言われ、昔商人たちは自分の店にこの神様をまつり、商売繁盛を願って毎朝拜っていました。



## ご意見・投稿募集

『ガバナー月信』では、より会員の皆様の声を反映させた誌面づくりを行いたいと考えております。『月信』に関するご意見・投稿などございましたら下記事務局へ。

事務局 札幌市中央区大通西6丁目  
北海道医師会館6F

TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526

E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp